

大学生が提案する 嵐電沿線「ぶらっと発見旅」



(©2024 京都学生留学生ネット)

* 掲載情報は、2024 年 12 月時点のものです。

* レトロな路面電車でのんびり旅を満喫してみませんか。魅力的な「ぶらっと発見旅」を大学生たちが提案します！

* このマップで、エリアをタップ/クリックしてください。嵐電の各駅から半日ほどで巡れる散策コースや観光スポットを提案する「ぶらっと発見旅」ページに飛びます。表示の徒歩時間は、Mapion キョリ測を使用しました。

* 各ページで下線表記をタップ/クリックすると、関連情報ページに飛びます。

1. [緊急時やお困りの際に便利なリンク情報](#)

災害 体調不良 音声翻訳 路線図 AED 位置 お風呂の入
り方 ハラル認証店など

2. [嵐電の魅力と乗り方情報](#)

文化を発信する嵐電 ワンマンカーの乗り方

3. [エリア別「ぶらっと発見旅コース・観光スポット」情報](#)

5つのエリア別のお薦め散策コース 観光スポット情報

4. [テーマ別「嵐電沿線深掘り旅」の楽しみ方](#)

世界歴史遺産 宿坊 禅体験 舞妓^{まいこ}さんに会いたい など

5. [その他の関連リンク情報](#)

1. 緊急時やお困りの際に便利なリンク情報

以下の多言語情報を参照ください。ただし、AED マップは、多言語化されていません。近くの日本人に支援をお求めください。

大規模災害時の京都市の支援サイト：

[京都市帰宅支援サイト - トップ \(kyoto.lg.jp\)](http://kyoto.lg.jp)

[帰宅困難者用マップ.pdf \(kyoto.lg.jp\)](#)

病気・体調不良の時：

[AMDA 国際医療情報センター \(amdamedicalcenter.com\)](http://amdamedicalcenter.com)

京都市内 AED 設置場所（日本語での対応）：

[京都市 AED 設置施設検索システム「AED マップ」](#)

多言語音声翻訳アプリサービス（31 言語に対応）：

[VoiceTra サポートページ - NICT](#)

京都市バス・地下鉄等の路線図（各国語版）：

[京都市交通局：路線図 \(kyoto.lg.jp\)](http://kyoto.lg.jp)

京都市の交通路検索：

[市バス・地下鉄ガイド：経路・時刻表など \(kyoto.lg.jp\)](http://kyoto.lg.jp)

京都市フリーWiFi 情報：

<https://ja.kyoto.travel/wifi/>

京都ハラル評議会（認証店）：

<https://halal.kyoto.jp/client/>

京都市観光情報：

[【京都市公式】 京都観光 Navi \(kyoto.travel\)](http://kyoto.travel)

[京都市観光案内所\(kyoto.travel\)](http://kyoto.travel)

お風呂の入り方などの独特な習慣について：

[日本のお風呂文化とお風呂の使用方法 - LIVE JAPAN](http://livejapan.jp)

[日本の文化・温泉の正しい入り方と注意事項](http://livejapan.jp)

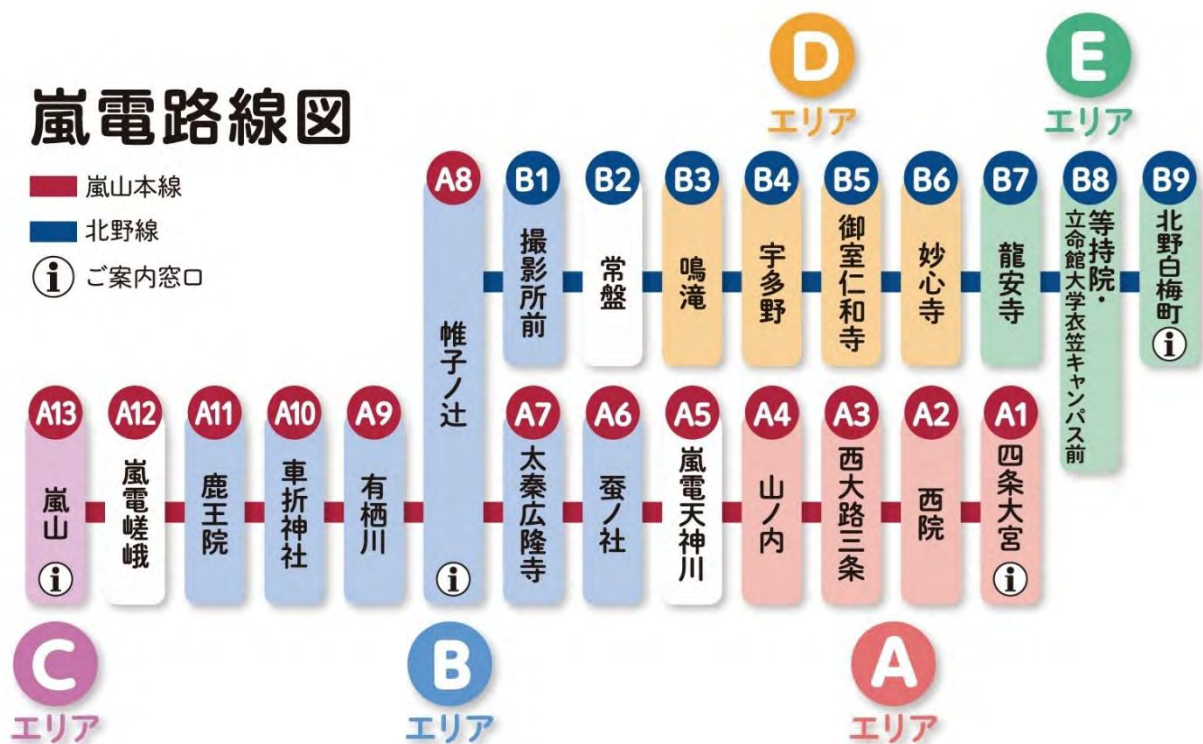
2. 嵐電^{らんでん}の魅力と乗り方情報

1910年に嵐山本線（四条大宮～嵐山）、1926年に北野線（帷子ノ辻（からびらのつじ）～北野（現在は北野白梅町））が開業しました。嵐電は、京都市街地と郊外の観光地を結ぶ路面電車として開業以来ずっと、京都の人びとからは、「嵐電（らんでん）」という愛称で親しまれています。

京都市西部の人口周密地を貫き、ＪＲ嵯峨野線、京都市営地下鉄東西線、阪急京都線とも結ぶ、地域の人びとの生活路線ですが、沿線に嵐山、嵯峨、東映太秦映画村があり、さらに、世界文化遺産である二条城、天龍寺、仁和寺、龍安寺、金閣寺や、その他、北野天満宮、妙心寺、野宮神社などの有名社寺を擁する日本でも屈指の観光路線です。

西院（さい）、帷子ノ辻（かたびらのつじ）、蚕ノ社（かいこのやしろ）、車折神社（くるまざきじんじゃ）など、歴史的な地名や社寺の名称を使用した日本人でも正確に読むのが難しい駅名の多い路線としても知られています。





5

運 行 昼間時間帯は基本 10 分間隔で運行

所要時間 四条大宮～嵐山：約 24 分
嵐山～北野白梅町（途中、帷子ノ辻で乗り換え）約 30 分

運 賃 おとな 250 円、子ども 130 円（均一運賃）

嵐電を 1 日自由に乗り降りできる「嵐電 1 日フリーきっぷ」(ONEDAY チケット)（おとな 700 円・小児 350 円）がおすすめです。「嵐電 1 日フリーきっぷ」(ONEDAY チケットは、四条大宮・帷子ノ辻・嵐山・北野白梅町の各駅で発売中！)

支払方法 現金、もしくは、交通系 IC カードで、後払い

アクセス ＊ JR 京都駅から

- ・嵯峨野線「太秦」下車 徒歩約 3 分「撮影所前」
- ・嵯峨野線「嵯峨嵐山」下車 徒歩約 2 分「嵐電嵯峨」

＊ 京阪電車・京都市営地下鉄東西線から

- ・「太秦天神川」下車 「嵐電天神川」

* 阪急電車から

- ・ 阪急京都線「西院（さいいん）」下車 「西院（さい）」
- ・ 阪急京都線「大宮」下車 「四条大宮」

嵐電の乗り方は、[嵐電 ご利用方法 | 京福電気鉄道株式会社 \(keifuku.co.jp\)](https://www.keifuku.co.jp)



3. エリア別「ぶらっと発見旅コース・観光スポット」情報 —エリアごとに散策モデルコースや観光スポットを知りたい！—



Aエリア：サムライ文化に触れるコース

二条城 神泉苑 壬生寺 春日神社祭り 祇園祭神輿巡行 銭湯
侍体験 ピクルス作り体験 ザ・西院フェス（ミュージカルフェス）

Bエリア：古（いにしえ）の京都と映画の街を巡るコース

広隆寺 蛇塚古墳 大映通り商店街（キネマキッチン、映葉座）
太秦東映映画村 車折神社 鹿王院 女性専用宿坊の魅力

Cエリア：嵐山を3つのテーマ「日本庭園」「古典文芸」「自然」で堪能するコース

天龍寺 大河内山荘 福田美術館 常寂光寺 祇王寺 落柿舎
嵯峨嵐山文華館 嵐山モンキーパーク 大悲閣千光寺
川遊び 祐斎亭 風風の湯 竹林の小径

D エリア：仁和寺・妙心寺、2つの古刹を巡るコース

仁和寺 御室八十八か所巡り（古都のハイキングコース）
妙心寺 退蔵院（座禅体験）花園会館（お寺のホテル）
お箸工房 ワンダアカフェ 花ごころ 萬長

E エリア：学問の神様に導かれ、地域の光に出会うコース

北野天満宮 上七軒 百妖箱（妖怪グッズ店） たわらや
とようけ茶屋 栗餅所澤屋 カステラ・ド・パウロ 等持院
立命館大学国際平和ミュージアム 堂本印象美術館 権太呂
金閣寺 龍安寺 西源院 京小物「衣笠」 京つけもの富川
龍安寺参道商店街（克、とんぼの家、あいおい食堂）

A エリア（四条大宮駅～山ノ内駅）



1910 年、^{らんざん}嵐山電車軌道(株)が、昔から観光・行楽の名所として有名な嵐山と京都の中心部とを結ぶ路面電車を開業しました。嵐電の発祥です。この当時、右京区はまだなく、唯一の京都市内ターミナル駅であった現在の四条大宮駅は、京都市の西の玄関口ということから京都駅と命名されました。「^{おおみや}大宮」とは天皇の住まいを意味しており、「四条通り」は京都の中心的ビジネス街です。かつて、このエリアは、京都の中心地のひとつで、京都の西エリアや大阪方面に向いた玄関口だったわけです。

7 月、祇園祭の 1 つ、^{かんこうさい}還幸祭で催される八坂神社の^{みこしとぎょ}神輿渡御のうち、^{なかござみこし}中御座神輿は四条大宮まで巡行します。年 4 回開催される壬生寺の^{みぶきょうげん}壬生狂言。二条城で開催されるライトアップイベント。10 月の^{さいいん}西院春日神社の祭りやザ・西院フェスなど、魅力的なイベントが目白押しです。8 月中旬、嵐電の四条大宮～嵐山間で走る「妖怪電車」は、京都の夏の風物詩です。

1603 年に徳川家康によって築城された世界文化遺産「二条城」は、桃山文化を今に伝える名城の 1 つ。ぶらっと発見旅コースでは、そこを起点として、平安時代に作られた日本庭園に起源を持つ神泉苑から、サムライ文化を実体験できる観光スポットに立ち寄るプランを提案します。幕末期に新選組が駐留したことで有名な^{にんげん}壬生寺にも、お立ち寄りください。西大路三条駅～山ノ内駅は路面走行区間です。その途中に、「^{きょうつけものもり}京つけものもり」があります。多彩な日本の漬物文化を堪能できます。

お薦め：サムライ文化に触れる散策コース（A-1）



二条城 京都市営地下鉄東西線二条城前駅、あるいは、京都市バスの二条城前駅からすぐです。

城内を見学・散策したあと、門を出て南に向かい、交差点で右手に折れ、歩くと神泉苑が左手にあります。

徒歩 8 分





神泉苑 平安の都にあった日本庭園を
偲ぶことができます。大きな池で、舟遊
びに興じる平安貴族の姿を思い浮かべ
ながら、しばし平安京の風情に浸れます。

徒歩 6 分



三条商店街 神泉苑を出て、南に歩く
と、商店街アーケードにぶつかります。
京都でも、活気のある地元の商店街の1
つ。商店街探索をお楽しみください。す
ぐ近くに、銭湯もあります。外国人も通
う、町中の銭湯です。

時間があれば、京都の銭湯でひと風呂
はいかがですか？ トロン温泉です。

徒歩 5 分



Kyoto-samurai-experience 築 250 年
の武家屋敷で、武道体験ができます。真
剣を使った畳筒（畳表を丸めたもの）切
り体験はスリリングです。必ず、事前予
約をされてください。

徒歩 8 分



嵐電：四条大宮駅

四条大宮駅付近は、魅力的な居酒屋や飲
食店がたくさんあります。ここでは、和
牛レストランとレトロな喫茶店などを
紹介します。

二条城 [二条城 世界文化遺産・元離宮二条城 \(kyoto.lg.jp\)](http://kyoto.lg.jp)

Google マップ

このコースの出発点は、世界文化遺産「二条城」です。二条城は、400 年以上にわたって、日本の歴史の移り変わり＝激変を見守ってきた城です。^{とくがわいえやす}徳川家康により京都御所の守護、将軍が上洛する際に宿泊するために築城されました。かつては、天守閣もありましたが、落雷で焼失しました。1867 年に 15 代将軍、^{とくがわよしのぶ}徳川慶喜が^{たいせいほうかん}大政奉還の意思を表明し、徳川幕府が終焉したことは有名です。

徳川幕府が、贅を尽くした、華やかな文化財の数々は必見です。国宝「二の丸御殿」は、江戸時代の書院造の代表的な建物です。廊下は、^{うぐいす}鶯張りと呼ばれ、歩くとキュッキュッと音がします。しばし、音を感じながら廊下を歩いてみてください。敵が忍び込んできた時のためと説明されていますが、じつは経年劣化によるものです。

11





また、お薦めしたいのが、「二の丸庭園」。二の丸庭園は、力強い庭石や堂々とした松などが植栽された大名式庭園です。

春は花見、夏は花火というように、季節に似合わせたプロジェクションマッピングやライトアップなどの光の演出で、歴史的建造物が煌びやかな空間へと一変するライトアップイベントが開催されます（詳しくは、観光ポイント情報にて後述します）。





二条城から歩いて8分ほどのところに、神泉苑があります。800年には、すでに書物に神泉苑についての記述があります。平安時代の都の面影を使える平安時代最古の庭園です。平安京大内裏に接して造園された天皇のための庭園でした。

また、「真言宗」という仏教宗派をひらいた弘法大師・空海が、干ばつに際して、降雨を祈った霊場としても知られています。現在の神泉苑は、江戸時代に造園されたもので、かつての神泉苑よりかなり小規模になってしまっています。

京都は、「水」の都と呼ばれ、各所に湧水がありますが、ここ、神泉苑でも、こんこんと清水が湧き出ていたとのこと。朱色の橋（法成橋）が水面に映える景色を眺めていると、平安時代に、貴族たちが舟を浮かべて、舟遊びに興じていた姿が偲ばれます。



境内の参拝は無料です。拝観時間であれば、だれでも入苑することができます。祇園祭の還幸祭かんこうさいの際、御神輿みこしは神泉苑まで巡行し、この寺で僧の祈禱を受けてから、八坂神社に戻ります。二条城という武士文化のシンボル（二条城）が、平安時代の貴族文化のシンボル（神泉苑）と隣接している点こそ、古都京都ならではの「珍しい景観」と言えるでしょう。

三条商店街

[Google マップ](#)

神泉苑を出て、神泉苑通りを南に下ると、6分ほどで、商店街のアーケードにぶつかります。大正時代から続く、京都でも元気な商店街の1つ、三条商店街です。入口のゲートに「365 日晴れの街」とあるように、アーケードのもと、天気を気にせず散策することができます。昔ながらの商店から、町屋を改装したおしゃれな店まで、新旧様々な店が立ち並びます。しばし、商店街散策をお楽しみください。

この商店街近くに、トロン温泉「稲荷」いなりがあります。もし、お時間があれば、京都の町の銭湯でひと風呂浴びて行かれてはいかがでしょうか。近くに住む外国人たちもお気に入りの昔ながらの銭湯です。

トロン温泉稲荷 <http://www.thoron-onsen.com/>

[Google マップ](#)

100 年余りの歴史ある銭湯で、「トロン温泉」のある銭湯として有名です。銭湯の入り方や日本のお風呂のエチケットについては、このガイドブックの「緊急時やお困りの際に便利なリンク情報」欄にある「[お風呂の入り方などの独特な習慣について](#)」などを参照ください。この銭湯では、刺青やタトゥーが入っている方でも入浴できます。タ

オルやシャンプー、石鹸なども貸し出してくれます。海外からお越しの方や観光客にも気軽に入浴いただけます。営業時間・入湯料などについては、稲荷湯のサイトを参照ください。

「トロン温泉」とは、厚生労働省が認める人工温泉のことで、天然のトロン原石と、数種類の鉱石を混ぜ合わせたトロン浴素を使用した温泉です。腰痛、肩こり、神経痛、冷え性、疲労回復などの効能が認められています。「トロン浴素」から放出される遠赤外線エネルギーが身体を芯から温めてくれるからです。きっと旅の疲れを癒やしてくれるはずです。湯上りの冷たい飲み物としては、ここでは冷えたトロン水を飲むことができます。また、昔の瓶を再利用した南山鉱泉所の手作りサイダーも置いてあります。トロン温泉で温まった身体を冷たい飲み物でクールダウンしてみてください。



三条商店街を南に下っていき、京都市立洛中小学校にぶつかったところを、左折すると、左手すぐに、築 250 年を超える武家屋敷があります。ここでサムライ体験ができます。二条城からほど近いこの屋敷は、かつて、二条城の監獄長の住まいでした。そのため、屋敷には、敵の侵入を防ぐ工夫が凝らしてあります。隠し扉や何層にも連なる襖もその一つです。



サムライワークショップは2時間ほど。はじめに、稽古着に着替えたあと、英語、もしくは、日本語で、この武家屋敷の歴史や居合道などについて説明があります。その後、居合道に秀でた師範の剣技を鑑賞します。洗練された居合は、かけ声と太鼓の音が合わさり、迫力が凄くて圧倒されます。特に、中庭で行われる「畳筒の五本切り」は圧巻で、五本の畳筒（畳表を丸めたもの）を刀で切り落とす姿は、戦場で敵の胴体を真っ二つに切る侍のようです。

続いて、参加者全員が中庭に出て、居合切りを体験します。最初は、

木刀での基本形の練習です。一人ひとり、丁寧に指導してもらえます。刀の持ち方から、切るときの歩数と歩幅、腕の振り上げる高さといった細かなところまで、配慮の行き届いた指導でした。

そして、真剣を使っの居合切り。一本の畳筒をいろいろな高さで切り落とすことに挑戦です。真剣を握る機会は、人生で滅多にあるものではありません。私のような日本人にとっても、とても精神が高揚させられる体験でした。ましてや、日本アニメ好きだったり、日本の武道に興味津々だったりする海外の方にとっては、たまらない体験だと思います。海外からの参加者たちの目の輝きが違いました。

最後は、「禅」体験です。禅はインドから伝わったとされ、武士道とも密接に関わっています。体験する「座禅」は、襖絵に對面しながら、座って深く長い息使いによって精神を統一するという禅の基本形です。座ることが苦手な方は椅子に座って実施することもできます。昔の武士も禅によって心を安定させ、剣技を磨いていました。こうした精神統一無しに、「畳筒の五本切り」はできないそうです。

Kyoto Samurai Experience では外国人観光客の皆さんが武士道や日本文化を知るのに、これ以上ない場と言えます。武道体験の他にも、書道体験や夜には食事を取りながら能楽を鑑賞するといったオプションも事前の相談によっては可能とのことです。日本人学生の私にとっても、とても感動的な体験でした。日本人・外国人を問わず、人生一度は体験してほしい観光スポットです。

午前 10 時~12 時、午後 3 時~5 時(土曜日・日曜日は定休日)となっており、これらの詳細や費用や予約等については、公式ホームページをご覧ください。事前予約は必須となっています。







Kyoto Samurai Experience で、サムライ体験を終え、嵐電四条大宮駅方面に向かいます。駅周辺には、個性的な居酒屋がたくさんあります。食事やカフェでの休息では、モリタ屋四条猪熊本店、コメダコーヒー四条大宮店、串八四条大宮店（串カツのお店）がおすすめです。

Google マップ

四条通り側から、小路に入るとモリタ屋
四条猪熊店の入り口があります。美味しい
和牛の料理が楽しめます。昼・夜ともに、
事前に電話にて予約されておくことをお
勧めします。

四条通りに面したモリタ屋が経営する
スーパーでは、黒毛和牛のお弁当を求める
ことができます。

お食事の時間が無い場合は、ホテルに持
ち帰って、和牛弁当を召し上がってみて
は、いかがでしょうか。



レストランの方では、焼き肉やしゃぶしゃぶ、すき焼きのコースの他にも、焼肉のお重など、様々なセットメニューから、お好みに合わせて、美味しい和牛を堪能できます。



[Google マップ](#)

コメダ珈琲店は、名古屋発祥の喫茶店です。日本のレトロな喫茶店文化を味わいながら、ゆっくりと旅の疲れを取ることができます。

シロノワールは、旅の疲れを癒すスイーツとしてお薦めです。店内のサービス等については、公式ホームページ（[コメダのサービス | コメダ珈琲店 \(komeda.co.jp\)](#)）ただし、日本語表記）をご覧ください。

24



二条城ライトアップ・イベント

[Event information | 二条城 世界遺産・元離宮二条城 \(kyoto.lg.jp\)](https://kyoto.lg.jp/)

嵐電・四条大宮駅から歩いておよそ 8 分の四条堀川バス停から、バスで 6 分のところにある二条城ですが、2017 年から魅力的な取り組みが行われています。それが、歴史的建造物 二条城 をつかったプロジェクションマッピング！

2017 年春から株式会社 NAKED の主催で、季節ごとに、二条城の夜間ライトアップイベントとして実施されています。

2023 年は、春は「桜」、夏は「花火」と「お祭り」、秋は「花」と「紅葉」をテーマにそれぞれの季節の美しい風景を映し出すデジタルアートが訪れる人びとを魅了しました。

プロジェクションマッピングでは、二条城の石垣をキャンバスに、花火や紅葉など、季節ごとに様々なアートが描かれていました。夏のイベントで、石垣に花火が上がると、会場に来られた人びとから「たーまやー」（昔の花火屋の名前。花火の際の掛け声として現代に伝わっている）と掛け声があがりました。



秋はひと味違った落ち着いた雰囲気でした。二条城の石垣に、彩り豊かな紅葉や、満月に照らされて咲く色鮮やかな花がプロジェクションマッピングとして華やかに映し出され、秋の夜長に趣きを添えてくれていました。風が穏やかな日には、写真のとおり、水面が「水鏡」となり、美しさが倍増していました。



お堀の石垣だけではなく、二の丸庭園への入り口にある重要文化財の唐門でもプロジェクションマッピングが行われます。色鮮やかな紅葉が舞い落ちる様子が映し出されてっていました。息を飲む美しさでした。この他にも、イベント限定アイテムの販売店・飲食店など、夜店が並び、身も心も満たされるイベントでした。京都に来られる際には、二条城プロジェクションマッピングイベントの開催スケジュールは、インターネットで要チェックです！



みぶでら
壬生寺

<https://www.mibudera.com/>

Google マップ

壬生寺は、幕末に活躍した武士集団「新選組」^{しんせんぐみ}と縁が深く、かつて壬生寺近隣にその駐屯所があり、壬生寺境内は新選組の訓練場として使われていました。新選組は、1863年3月に、壬生の地で結成され、当時、壬生浪士組と名乗っていました。江戸時代末期の京都で治安維持や反幕府勢力の弾圧のために活動していました。

近藤勇^{こんどういさみ}・土方歳三^{ひじかたとしぞう}・沖田総司^{おきたそうじ}の三人は特に有名で、今なお多くのファンがいます。江戸幕府末期には、外国と国交を結んだ幕府に対して、テロ活動を通じて反抗する浪士が京都にはたくさんいました。新選組は、壬生寺を本拠地とし、反乱分子を徹底して取り締まりました。新選組は、「局中法度」^{きょくちゅうはつと}という規則を組メンバーに課し、脱走、私的な金策、私的な争い事を厳しく禁じ、自らを律していました。そうし

た「士道」に背けば、切腹という処罰も辞しませんでした。その激烈さから、京都の町衆から恐れられましたが、そのおかげで京都の治安が守られたのです。そうした幕末の志士たちには、今でも多くのファンがいます。壬生寺境内の東方にある池の中の島には、壬生塚と呼ばれるお墓があり、新選組隊士 11 名がまつられています。また、境内には近藤勇や土方歳三の胸像も建立されています。

壬生寺で新選組に関する資料やパネル展示もあり、壬生寺と新撰組について詳しく知ることができます。



壬生寺で、毎年3回(節分、春、秋)に公開されるのが、およそ700年の歴史を持つ「壬生狂言(壬生大念佛狂言)」です。

「壬生狂言」とは、台詞を一切用いず演者の動きと囃子の音で演じられる宗教劇のことです。「何も知らないのに楽しめるのかな」と不安に思う方もいるかもしれませんが、心配はご無用。数千枚もの皿を舞台の上から落として割る『ほうらくわり炮烙割』や、おおぐも大蜘蛛が大量の糸を撒く『土蜘蛛』では、観客席から「おー！」と大きなどよめきが上がります。壬生狂言を初めて観る私たち大学生も圧倒されました。

演者は、小学生から社会人まで幅広い年代の保存会の地元の人びとです。「長く続いたこの伝統を途絶えさせるわけにはいかない」という想いを胸に、壬生狂言を継承されています。



開演前には、各演目のあらすじが書かれた小冊子(日本語・英語)が販売されます。言葉を用いず演じられるからこそ、心に残る「壬生狂言」を、「観る」「聴く」「読む」それぞれの楽しみ方で鑑賞してみ

てください。

狂言と言えば、「能の合間に演じられるコント」という認識が一般的ではありますが、壬生狂言は少し変わっています。最も変わっているのは何と言っても台詞がないことです。鎌倉時代に壬生寺を大きく発展させた円覚上人は「より多くの一般の人びとにも仏の教えを理解してもらいたい」という思いから、難しい言葉は使わず、音楽に合わせるパントマイム（無言劇）で仏の教えを分かりやすく紹介する持斎融通念仏じさいゆうずうねんぶつを始めました。このセリフのない持斎融通念仏が壬生狂言の原点なのです。

勧善懲悪や因果応報などをテーマとしながら、演者全員が仮面をつけて演じる形は、今も受け継がれています。能やその他の物語文学からも影響を受け、庶民にも親しみやすいユーモア溢れる演目が徐々に追加されていったのも壬生狂言の特徴であり、魅力です。

春の公開は4月21日から5月5日の7日間、「壬生大佛会」という700年の歴史ある法要の中で、朝、昼、晩の一日3回披露されます。秋の公開は10月の連休の3日間です。また、節分の当日と前日には演目「節分」が一日4回披露されています。



京都の三大祭りの1つである祇園祭の一部として実施される還幸祭では、3台の神輿が市内を渡御します。御神輿とは、神様が移動するとき、一時的にお移りになる乗り物のことです。3台の神輿のひとつである「中御座神輿」も、神様を八坂神社にお返しするため、7月24日の還幸祭では、四条大宮まで巡行します。四条大宮の交差点（[Google マップ](#)）は、還幸祭の絶好撮影ポイントの1つなのです。大勢の担ぎ手たちが、御神輿を回す光景は壮観です。

私たちが取材した2023年は、コロナ禍後に、初めて実施されたタイミングだったこともあり、人手の規模は戻りきっていないようでしたが、それでも写真のような賑わいです。例年、四条大宮の交差点が人で埋め尽くされるほどの賑わいです。御神輿を練る迫力のある様を見て、祇園祭が、そもそも、疫病を京都の町から追い出すために実施された祭であったことをつくづくと感じさせられました。こうした祈りが通じて、無病息災な生活が続いてほしいものです。



[Google マップ](#)

京都では、京都の三大祭以外にも地域コミュニティに根差した魅力的な祭りがたくさんあります。そんな祭りで、見逃したくないのが、春日祭です。上記サイトで、その様子を動画で見ることができます。

嵐電・西院^{さいい}駅から徒歩およそ 9 分のところに西院春日神社^{かすがじんじゃ}があります。蛙をお祀りしている珍しい神社で、境内には蛙の像 3 匹が鎮座しています。蛙が三匹なので「見(身)返る = 願いが叶う」とされ、一願成就のカエルともいわれています。

32



そんな西院春日神社には、日本最大級の「御神輿」があり、その重さはなんと 2 t 以上…！ 何十人もの男性が力を合わせてやっと担ぐことができます。威勢の良い掛け声のもと、神社周辺の街を練り歩く様子はまさに圧巻です。私たちが取材した 2023 年の開催日は、あいにく土砂降りの雨の寒い日でした。それでも、祭りはその寒さを吹き飛ばすような熱気に包まれていました。



嵐電・西院駅前では、嵐電と祭の行列のこんなコラボ写真が撮影できました。

規模が大きいのは御神輿だけではありません。西院春日神社前の道路は南北およそ1kmにわたって両側に屋台が連なります。これだけの規模は京都市内では祇園祭の宵山に次ぐ規模とのこと。雨にもかかわらず多くの人びとで賑わっていました。周囲いっぱい広がるおいしそうな匂いに、食欲がそそられます。日本の「屋台」という文化を実際に体験できる貴重な機会です。



ザ・西院フェスは、秋に開催される全会場入場料無料の投げ銭制ミュージックフェスです。2023年には、西院春日神社をはじめとして、8会場が設けられ、53団体・個人のミュージシャンが集まりました。

神社の境内で盛大にドラムを叩いたり歌ったり、普段では見られない雰囲気の中、ミュージシャンたちが奏でる音楽を間近で体験できるところが面白みの一つです。

また、様々なジャンルのミュージシャンが集まっているので、興味のあるジャンルはもちろん、普段は聴かない種類の音楽に触れることができる点も魅力と言えます。たくさんの会場をぶら歩きしながら、音楽とともに、お酒を嗜み、いろいろな人と出会うことで、西院の街を深く知ることができます。



こうしたミュージックフェスティバルが西院で開かれるようになったのは、2002年からです。フェスティバルの発案者は、フェスティバルを開催するにあたって、西院という街そのものが持つポテンシャルを活かしたいと考えました。個性あるお店と人情ある住民とが作るアットホームな雰囲気は、この街の魅力です。さらに、春日祭のような伝統と街に根付いた音楽の文化、これらを掛け合わせたイベントで街を盛り上げたいという思いがあったそうです。こうした発案者の思いを受け継ぎ、2023年のフェスティバルはコロナ禍明けの開催となりました。

ザ・西院フェス実行委員会は、「手持ちのお金がある無しに関わらず、誰でも気軽に音楽が楽しめるフェス」を目指しているのです。

運営者としての今後の希望は、たんなる音楽イベントを越えて、「地域の文化祭」として発展させていくことだそうです。かつては、ジャズを中心とした特定ジャンルの音楽バンドしか参加しなかったために、客層が限られていました。これからは、パフォーマー側の多様性を大切にして、音楽以外の様々なパフォーマーも参加できるようにして、演者も観客もワクワクできる地域のフェスティバルに進化させていき、街全体をジャックしたいと抱負を語ってくれました。



[もり本社ビル - Google マップ](#)

「西大路三条」から「山ノ内」の区間、嵐電は三条通りの路面上を路面電車として走行します。2つの駅の間辺りに、漬物屋「京つけもの もり」があります。

店内には、色とりどりの漬物がずらりと並んでいます。千枚漬やししば漬のような「京名物」から、玉ねぎやカボチャ、タケノコの漬物もあります。日本は、世界に稀に見る「漬物文化」の国であり、漬け物の多様性はびっくりするほどです。商品ケースにならんだ、様々な漬物の写真は、写真映え間違いありません。「京つけもの もり」では、大根やれんこん、長芋などの野菜を酢漬けにした「京ぴくるす」やオリーブの漬物の「京都おりーぶ」などの瓶詰め製品も開発されています。これだったら、日本の珍味として海外にも持ち帰りできるでしょう！

試食コーナーもありますので、お気に入りの漬物を見つけてください。また、「京つけものもり」では、ピクルス作り体験のイベントも、定期的に実施されています。情報については、インターネットで、お問い合わせ、予約のうえ、お越してください。



嵐電妖怪電車

夏のお盆の期間、夕刻、四条大宮～嵐山間で運行される嵐電妖怪電車は、京都の夏の風物詩となっています。詳しい実施情報は、嵐電サイトのお知らせを参照ください。

嵐電妖怪電車は、当初は「走るお化け屋敷」として車内の雰囲気を楽しむだけのイベントとしてスタートしましたが、現在は乗客も妖怪にコスプレして乗車したり、またそれを見て楽しんだりという、参加型の夏のイベントとして定着しています。

出発駅では、楽しみにしていた人びとが列をなして、その到着を今か今かと待ちます。

出発すると、車内には青白い電気が燈り、子どもから大人まで多様な世代の乗客が30分ほどの間、妖怪たちと触れ合えます。妖怪たちと楽しそうに握手をする子どももいれば、いくら親がなだめても、泣き叫ぶことを止めない子どももいて、ほほえましいひと時が流れます。

こうした企画は、美術大学関係者（現在は、E エリアで紹介する「百妖箱」^{ひやくようばこ}がサポートしている）や地域とのコラボレーションから、2006年に始まったものです。最近は、地元住民に混ざって、外国人観光客も見られるようになりました。妖怪たちとの出会いを通して、夏の暑さを吹き飛ばしてみてもはいかがでしょうか。

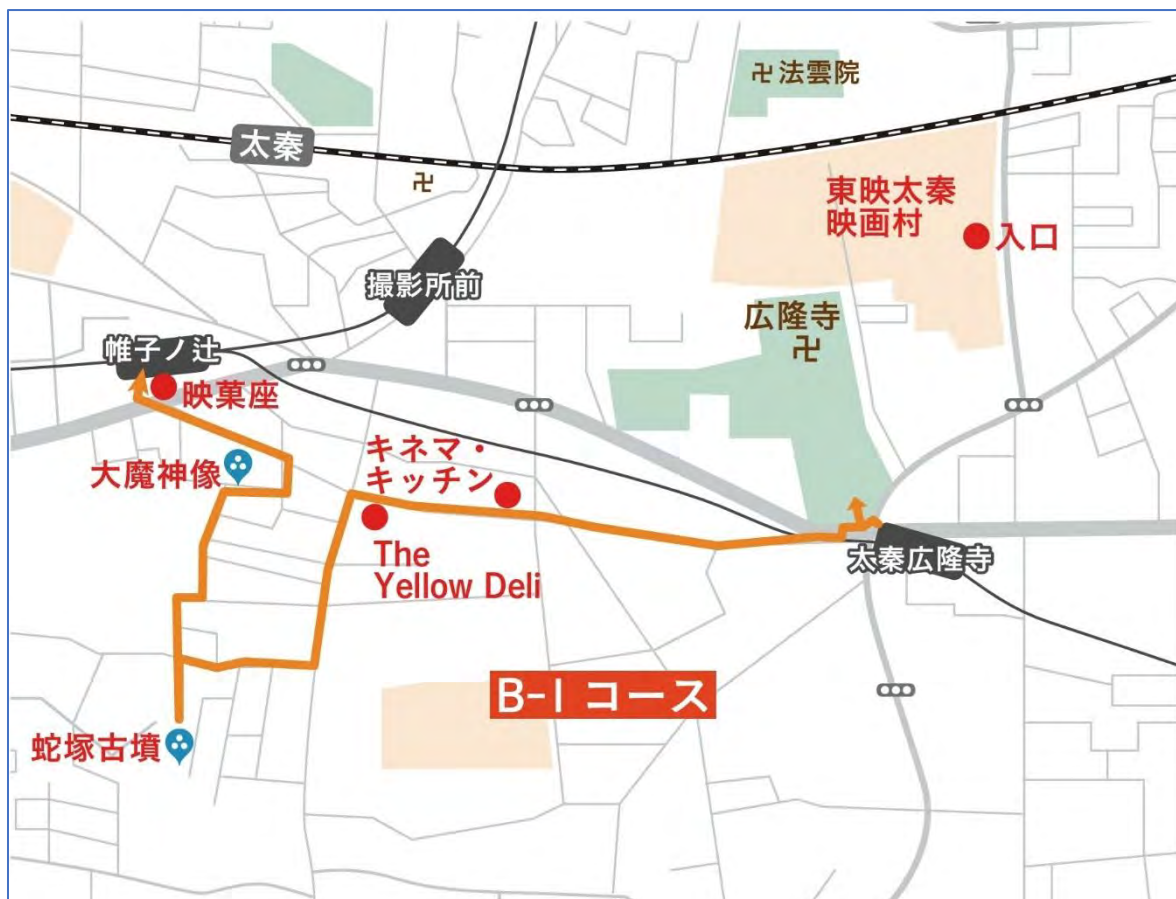




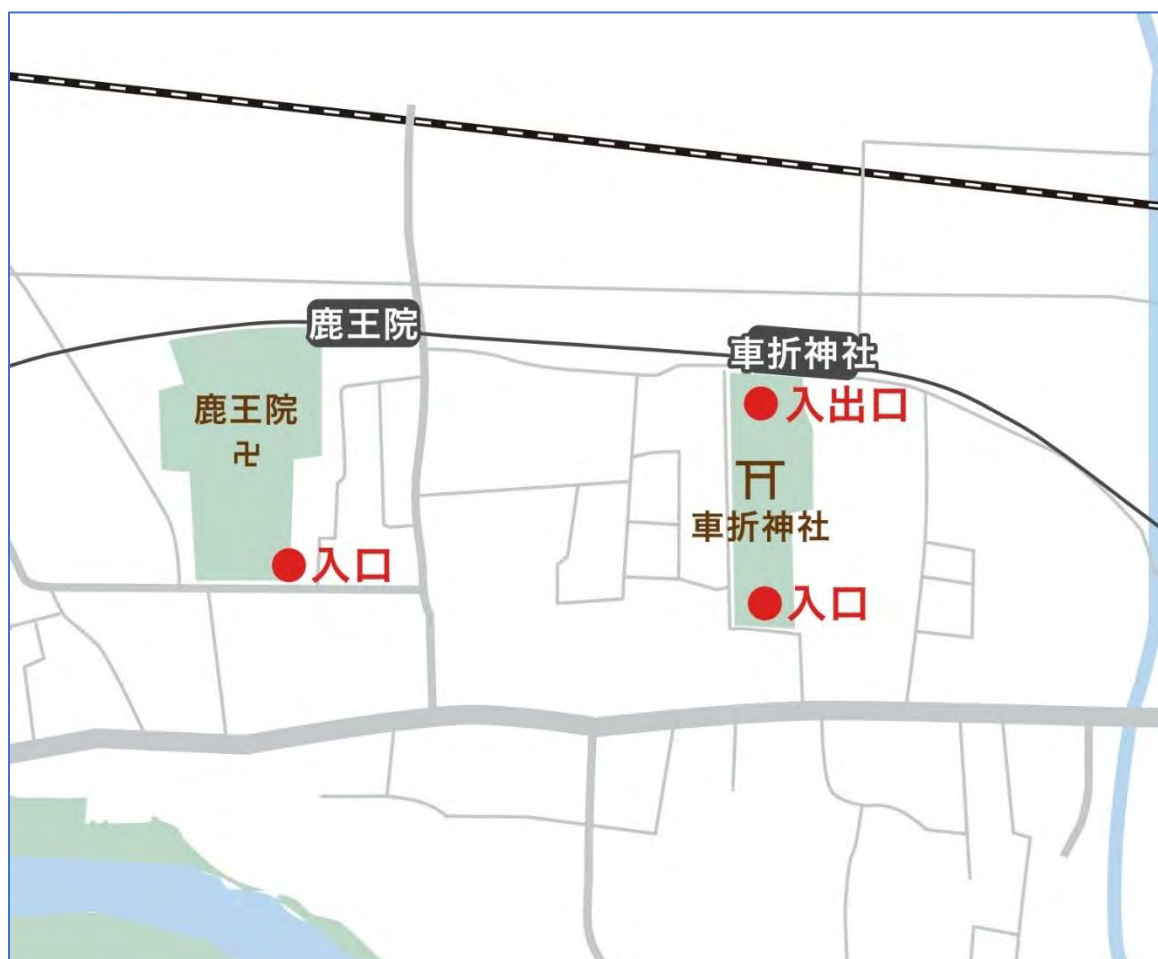


Bエリア（太秦広隆寺駅～鹿王院駅）

Bエリア東側マップ（太秦広隆寺駅～帷子ノ辻駅）



Bエリア西側マップ（車折神社駅～鹿王院駅）



嵐電の駅名には、日本人でも読むのが難しい地名が並びます。とくに、このエリアには、「太秦（うずまさ）」「帷子ノ辻（かたびらのつじ）」と珍しい地名が並びます。

京都に都が移される以前の古（いにしえ）の時代、このエリアは渡来人の秦氏が勢を誇り、文化的・産業的な先進地域でした。京都に都が定められた平安朝の時代には、嵐山は貴族の物見遊山の名所となり、歴代の天皇たちも嵐山で遊ぶために、牛車で行き来したという古い逸話が残ります。「帷子ノ辻（からびらのつじ）」「車折（くるまざき）」という名称は、そうした古事から生まれたものです。

近代になると、太秦は「日本のハリウッド」とも呼ばれ、日本の映画産業発祥の地として繁栄してきました。東映、松竹、大映などという日本の名だたる映画スタジオが競い合い、数々の日本映画の名作を世に送り出しました。1975年には、日本映画のテーマパークとして、**東映太秦映画村**がこの地に誕生しました。開業 50 周年を迎える 2025 年に向けて、2024 年から 2028 年にかけて全面改装され、体験型テーマパークとして、さらにバージョンアップされる予定です。時代映画やサムライ、忍者に興味のある方には、東映太秦映画村は必見です。

B エリアでは、推奨ルートとして、太秦広隆寺駅から帷子ノ辻駅までの散策ルートを紹介します。太秦広隆寺駅を降りてすぐの**広隆寺**は、秦氏との所縁も深い、京都でも最古の寺院の 1 つとされています。そこで、国宝第一号として指定された**弥勒菩薩半跏思惟像**みろくぼさつはんかしゐぞうを拝したのち、大映通り商店街で一休みし、**蛇塚古墳**（7 世紀の古墳跡）、**大魔神像**、そして、終着地の帷子ノ辻駅に向かいます。B エリアでは、この他、本エリア西側マップに掲載されている**車折神社**、**鹿王院**などを観光スポットとして紹介します。

いにしえ
お薦め：古の京都と映画の街を巡る散策コース（B-1）

太秦広隆寺駅



徒歩 1 分

広隆寺 太秦広隆寺駅を降りて、すぐ目の前に広隆寺があります。広隆寺の霊宝殿では、国宝第一号として指定された「弥勒菩薩半跏思惟像」など貴重な仏像は必見です。

42



徒歩 7 分（キネマキッチンまで）

大映通り商店街 このエリアには、日本の映画産業を支えた三大映画撮影所がありました。大映はその1つです。キネマ・キッチン（レストラン）には、貴重な映画資料が展示されています。



徒歩 9 分（キネマ・キッチンから）

蛇塚古墳 大映通り商店街から、南へ、住宅街に入っていくと、蛇塚古墳があります。都が京都に置かれる以前に、この地で栄えた秦氏のお墓と言われています。内部の見学には予約が必要です。

徒歩 7 分



大魔神像 蛇塚古墳から大映通り商店街に戻るとスーパーマーケットの前に、映画『大魔神』で有名な大魔神像が立っています。

徒歩 3 分

人気の駄菓子店「映菓座」があります。

帷子の辻駅

広隆寺

https://ja.kyoto.travel/tourism/single01.php?category_id=7&tourism_id=284

広隆寺 - Google マップ

太秦広隆寺駅を降りると、すぐ目の前に、広隆寺の山門が見えます。この古刹の起源については、最も古い日本の歴史書である『日本書紀』に、秦河勝が「推古十一年（603年）に聖徳太子より仏像を拝受して蜂岡寺（広隆寺の古称）を造営した」と記載されています。秦氏は漢民族系で朝鮮半島を経由して日本にきた渡来人で、日本に養蚕、機織、酒の醸造、治水の技術を伝えた重要な一族です。聖徳太子に仕えて、大陸からの文化・技術の指導・伝承を担っていたと言われています。

43



（写真は、広隆寺より掲載許可を得ています）

広隆寺は、国宝「弥勒菩薩半跏思惟像」があることでも有名です。文化財保護法(1950 年)により日本に国宝制度が導入されましたが、その翌年、最初に国宝指定があった 181 件のうちの 1 つです。その際、指定された通し番号で「彫刻第一号」として登録されました。ドイツの著名な哲学者であるカール・ヤスパースは、この像を「人間実存の最高の姿を表したもの」と激賞しています。

このように、広隆寺は聖徳太子しょうとくたいしとの関係がとても深いお寺です。ここに祀られている木造聖徳太子立像は、毎年、11 月 22 日の聖徳太子御火焚祭に公開されています。この立像は、黄櫨染御袍（こうろぜんのごほう）をまとっていることで有名です。黄櫨染御袍とは、天皇だけに許された重要な儀式の際の着用服です。広隆寺には、歴代天皇より、天皇着用の装束と同様のものが寄贈され、この聖徳太子立像に着せられているのです。

大映通り商店街 [大映通り商店街 \(kinemastreet.com\)](http://kinemastreet.com) (日本語)

広隆寺の山門を出て、三条通りを渡り、右手に進み、面した三叉路の一番左側の道が大映通り商店街の入り口です。

大映通り商店街は、東映・大映・松竹などの日本映画界を支える三大太秦映画撮影所とともに発展してきました。この辺りや嵐電北野線沿線には、1926 年ごろから、映画撮影所が建設され始め、やがて、「日本のハリウッド」と称されるようになりました。以来、多くの映画スタッフや役者たちがこの商店街を闊歩してきました。しかし、日本映画の斜陽化とともに、松竹京都撮影所は 1965 年に閉鎖、また、大映京都撮影所も 1986 年に閉鎖され、加えて付近への大型商業施設の進出などによって、商店街は次第に衰退していきました。大映通り商店街振興組合によって、25 年以上前から、「映画の街」をモチーフとして、商店街活性化の動きが始まりました。歩道を映画フィルムのようにデザインしたり、街灯を映画用カメラを模してデザインしたりするなど、京都でもユニークな商店街として注目されています。近年では、立命館大学映像学部プロジェクトとして、山田洋二監督による「京都太秦物語」(2010 年)の撮影も行われています。

大映通り商店街で、ちょっと一休みしましょう。地元の NPO が運営するカフェ・レストラン、キネマ・キッチンはいかがですか。食事を取られる場合は、スタッフが、毎朝、丁寧にだしをとり、季節の野菜をふんだんに使って作る「おばんざい」付きの定食がおすすめです。

店内には、上映設備があり、年代物の映写機、映画キャラクターのフィギュア、古い映画雑誌、貴重な台本などが飾られており、自由に閲覧できます。映画関係者とのトークセッションや町内会、子ども会、市民団体の集まりなど、地域のコミュニティ・スペースとしても活用されています。





46

The Yellow Deli [Home - The Yellow Deli](#)

[Google マップ](#)



キネマ・キッチンを通りすぎて、すぐに、カフェ「The Yellow Deli (ザ イエロー デリ)」があります。地元住民に人気のお店で、ここも、一休みするのにオススメです。The Yellow Deli は、アメリカやオーストラリアなど数か国に出店しているベーカリーカフェです。店内はカントリー調で統一。落ち着ける雰囲気です。

石窯で焼き上げたパンは、味も絶品です。小麦は100%北海道産。全てのパンに全粒粉を70%以上使用し、フランス産ゲランドの塩や北海道産バターなどの材料や製法にもこだわっています。卵も牛乳も使わない、自家製発酵の天然酵母パンもあります。

The Yellow Deli のすぐ先にある十字路を左に折れ、大映通り商店街から離れていくと、「蛇塚古墳」が住宅街に、突然、現れます。

蛇塚古墳 [蛇塚古墳 | 【京都市公式】京都観光 Navi \(kyoto.travel\)](#)

[Google マップ](#)

大映通り商店街のブラ歩きを楽しんだあと、蛇塚古墳へ向かうには、The Yellow Deli の十字路を南方面へ折れて、7分ほど歩きます。一般住宅に囲まれて、大きな遺跡が見えてきます。7世紀頃に作られた横穴式石室が露出しています。京都市内では最大、全長17.8m、玄室長6.8m、玄室幅3.9m（元々の古墳全体は70mほどと推定されている）。全国的にも有数の規模を誇ります。7世紀ごろ、この地域を治めていた豪族である秦氏の墓と考えられています。フェンスに守られ、鍵がかけられていますが、鍵を開けて中に入ることもできます。地域住民たちが「蛇塚古墳保存会」を組織しており、鍵を管理しています。石室内部の見学の際には、事前に京都市文化財保護課に電話（075-366-1498）で申請のうえ、住民担当者からフェンスの鍵を預かります。

昔、古墳の周辺は草木が茂り、荒れ放題で、下図のように子どもの遊び場になっていました。1990年に保存会ができてから、毎週、住民が協力して掃除を行い、美しさと清潔さが保たれています。例年、国内外から3000~4000人もの観光客が訪れているとのこと。





だいまじんぞう
大魔神像

[Google マップ](#)

マップを見ながら、大映通り商店街に戻ると、スーパーフレスコの前に、大きな大魔神像が現れます。

大魔神は、言わずと知れた大映京都撮影所で 1966 年から制作された元祖特撮映画と言うべき「大魔神 3 部作」のヒーローです。1999 年京都映画祭に向けて、そのレプリカが作成されましたが、以来、長く倉庫で眠っていました。当時の大映通り商店街振興組合理事長の発案で、京都府補助金をもとに、2013 年にスーパーフレスコにっさん太秦店の前に設置されました。大魔神像は、高さ約 5 メートルの威容を誇ります。

大魔神像は、合成樹脂でできているために、意外と身軽で、大映の後継会社である KADOKAWA のイベントに出張したり、京都市役所前に出張したりすることもあるそうです。大魔神像が秋田に出張した際には、代わりに商店街には、秋田の「なまはげ」像が設置されました。大魔神像には泣かなかった幼い子どもたちが、「なまはげ」が怖いと泣きだしたという面白い逸話が残っています。

大魔神像の前を西に進むとすぐに、嵐電の帷子ノ辻駅があります。その駅舎にあるスーパーフレスコに入って2階に上がると「映画のまちの駄菓子売り場 映菓座」があります。



50

「映画のまちの駄菓子売り場 映菓座」

[Google マップ](#)

帷子ノ辻駅の駅ビルショッピングセンター2階にある駄菓子屋です。地元の子どもたちにも人気のスポットです。店内には、外国人観光客もちらほら見受けられます。安くて日本らしい素敵なお土産に

なると人気なのです。

レトロな昭和風の居間に映画撮影カメラが据えられた写真撮影スポットもあります。



51





東映太秦映画村

toei-eigamura.com

Google マップ

太秦広隆寺駅から、北方に歩いて 8 分（450m）ほどのところに、東映太秦映画村があります。映画村を楽しむには、アトラクション券付き入場チケットが便利です。インターネットで事前購入することもできます。

映画村は、東映京都撮影所内に、1975 年に開設された映画のテーマパークです。開業 50 年を迎える 2025 年を機に 2028 年にかけて、体験型テーマパークとしてさらにバージョンアップされる予定です。

映画村はテーマパークでありながら、撮影所と隣接しているため、機会さえ合えば、オープンセットで繰り広げられる劇場映画や TV 番組の撮影風景を楽しむことができます。テーマパークとして、映画に関連した楽しい催し物や施設も工夫されています。

「時代劇扮装の館」では、小道具、かつら、衣装の専門技術スタッフによって、お姫様、舞妓、新選組隊士、坂本龍馬など 24 種の中から時代劇のキャラクターを選んで時代衣装体験が楽しめ、1 時間程度なら村内の江戸時代用や明治時代用などの撮影セットを散策することもできます。

「からくり忍者屋敷」や「忍者ショー」、「花魁道中」、「おいらんどうちゅう殺陣師たてしによる「ちゃんばら実演」などの太秦映画村ならではのアトラクションも、ぜひ、お楽しみください。また、プロの俳優が扮する「お化け屋敷」は、リアルな恐怖を味わうことができると、地元民にも根強い人気を誇ります。プリキュアや仮面ライダーのコスプレをして写真を撮ることもでき、老若男女を問わず大満足間違いなしの観光観光スポットです。



映画村内では、いたるところで、スタッフと一緒に写真を撮ったり、また、「エヴァンゲリオン京都基地」では、実寸大のエヴァンゲリオン初号機に実際に上った姿を写真撮影したりすることもできます！





サムライ体験@東映太秦映画村

とくに、サムライ体験はお薦めです。「時代劇扮装の館」には、小道具やかつら、衣装の専門技術スタッフがいます。御姫様、舞妓、新選組隊士、坂本龍馬など時代劇のキャラクターを選んで時代衣装体験が楽しめ、パーク内の江戸時代用や明治時代用などの撮影セットを散策したり、プロの俳優さんの指導の下、殺陣を体験したりできます。その際、俳優との写真・動画撮影は自由にできます。

なお、サムライ体験は春・秋のみ開催のシーズンイベントです。



57

くるまざきじんじゃ
車折神社

[車折神社 \(kurumazakijinja.or.jp\)](http://kurumazakijinja.or.jp)

Google マップ

Bエリア西側マップには、2つの観光スポットがあります。朱塗りの車折神社駅ホームを降りると、すぐそこに、その1つ、車折神社があります。

この神社には、平安時代の儒学者である清原頼業公きよはらよりなりが祀られています。

ます。清原頼業公は、「その才、神というべく尊ぶべし」と言われるほど人望を集めたために、「約束を違えないよう守ってくれる神」として、800年以上も前から篤い信仰を集めてきました。770年ほど前、後嵯峨天皇が嵐山を訪れた際に、門前で天皇を乗せた牛車の轅（牛車を引く木製部分）が折れたため、以来、「車折神社」と称せられるようになったという話はあまりに有名です。



ところで、神道には、「万物に神が宿る」という発想が根底にあります。ここ、車折神社では、人びとの石に対する信仰を見ることができます。江戸時代に、ある人物が境内で拾った石に願をかけて、家に持ち帰ったところ、願いがかない、彼は、代わりの石にお礼を書いて奉納しました。車折神社のお守りに、「祈念神石」^{きねんしんせき}がありますが、多くの人びとがこの謂われに従い、お礼の石を納めていきます。境内で返された奉納石を見ていると、なぜか私たちも幸せな気分させられます。

昨今、日本ではパワースポットが注目されていますが、情報誌では、車折神社がしばしば取り上げられています。また、車折神社は芸能神

社があることでも有名です。もし好きな芸能人がいたら、その方の成功のために参拝するのも良いでしょう。



59



平安の雅な舟遊びを再現した三船祭^{みふねまつり}

[三船祭 | イベント一覧 | 京都府観光連盟公式サイト \(kyoto-kankou.or.jp\)](http://kyoto-kankou.or.jp)

車折神社には多くの祭礼がありますが、なかでも、毎年5月第3日曜日に行われる三船祭は有名で、多くの観光客で嵐山は賑わいます。京都には、300ほど祭りがあると言われていますが、三船祭は、昭和天皇の即位を記念して、1928年から始まった、比較的に新しい祭りです。大堰川^{おおいがわ}に浮かぶ船では、詩歌や舞楽^{ぶがく}が披露されます。

60



(車折神社提供写真)

[Google マップ](#)

B エリア西側マップのもう 1 つの観光スポットは、鹿王院駅から歩いて 6 分の鹿王院です。

鹿王院は、1379 年、足利義満^{あしかがよしみつ}によって建立されました。将軍職を退いた後に、有名な鹿苑寺(金閣寺)を建てたのですが、足利義満が、まだ若い時機に 22 歳で、夢のお告げによって、建てたお寺がこの鹿王院です。その名前の由来は、建立当時、この付近に鹿が群れており、義満は仏教でめでたいとされている鹿がとりわけ好きだったからとされています。

鹿王院には足利義満直筆の額も残っており、入り口の山門には、優秀な人材という意味の「覚雄山」という文字を、庭園が見える廊下には「鹿王院」という文字を見ることができます。これら 2 つの額は、京都の建物のほぼ全てを焼き尽くした戦国時代を経て、現代に伝わる貴重なものなのです。寺院入り口あたりの土塀も、建立当時から残るもので、義満の時代を伝えるタイムカプセルとなっています。

600 年前の嵐山へタイムスリップ

本堂の中には応永鈞命絵図^{おうえいきんめい え ず}の複製が展示されています。原本は 1426 年に作成されたもので、展示されているものは複製版とはいえ 1700 年頃に作成されたものです。これは昔の嵐山近辺の地図ですが、描かれている寺院で現在も同じ位置にあるものは少なく、鹿王院を始めとして、天龍寺、臨川寺^{りんせんじ}、金剛院、大覚寺、清涼寺、二尊院の 7 か所だけです。渡月橋も、今とは違った場所にありました。さて、どこにかかっていたでしょう。そんなタイムスリップ体験のひとつはいかがですか？

時の流れを感じる庭

鹿王院の庭園は、嵐山を借景とする平庭式枯山水苔庭です。枯山水(白砂で川の流れを表現する様式の庭)は古色蒼然とした良さがあ

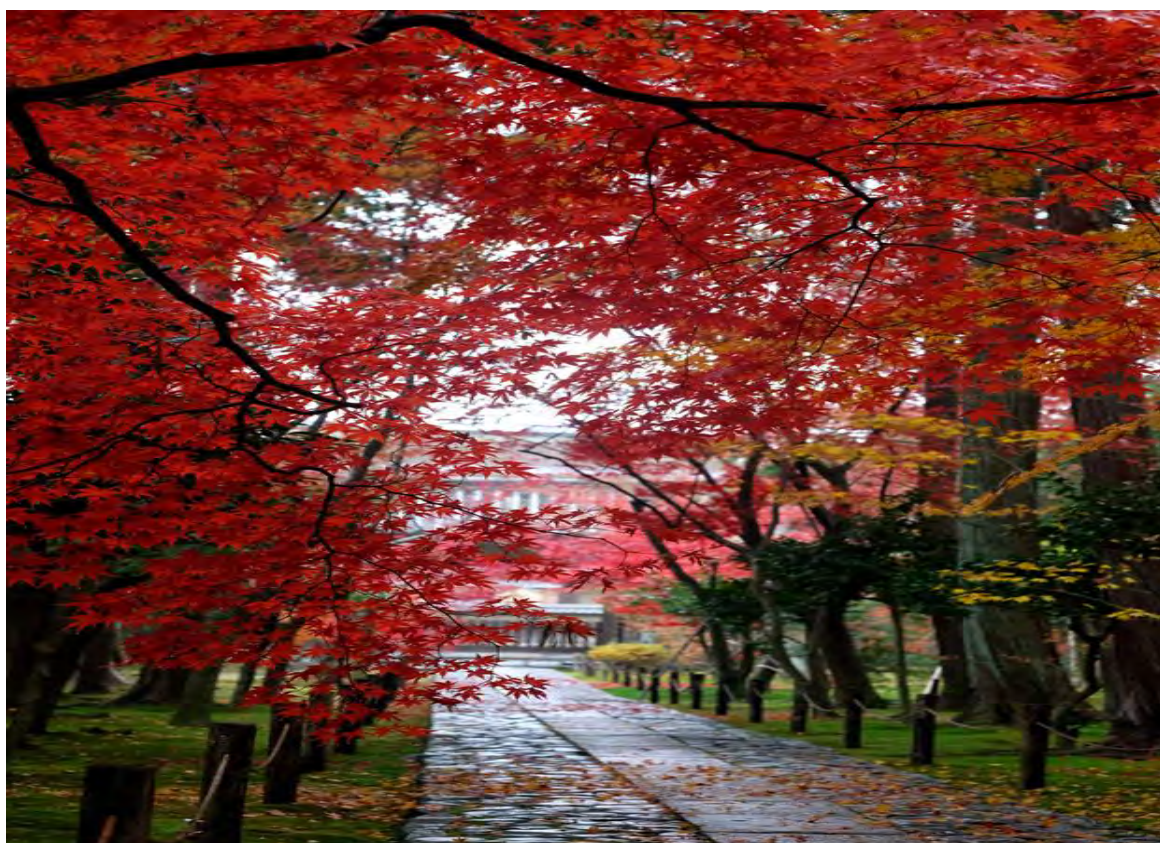
り、出来上がって以来、砂は足されていません。そのため、他の枯山水と比べると砂が少ないようにも思われるかもしれませんが、むしろ、そうした風情から、600年の時間の流れをじっくりと味わうことができるでしょう。



(いずれも写真撮影は、鳥本秀男さん)

知られざる秋の名所

鹿王院は何といっても秋の紅葉が魅力的です。山門から続く参道は木々に挟まれており、晴れた日には心地よい木漏れ^{こもび}日を浴びることができます。真紅の紅葉は、落ち着いた鹿王院の雰囲気と合わさり、日常生活ではなかなか出会えない神秘的な世界に私たちを引き込んでくれます。混み合った嵐山を離れて、ゆっくりと静かに紅葉を楽しむ「知られざる秋の名所」です。



(写真撮影：鳥本秀男さん)

女性専用の宿坊で “古き良き日本” を体験

鹿王院のもうひとつの魅力は女性専用「宿坊」です。お寺に宿泊し、朝食に精進料理（仏教の戒律にもとづく菜食料理）を味わえます。

「宿坊」とは、本来、修行僧などが利用する宿泊施設です。時代とともに利用者は変わり、ここ鹿王院では、現在、一年を通して、女性観光客のみを対象とした宿泊施設となっています。晴れた早朝に、扉を開けると清々しい空気、そして、まぶしい陽の光とともに、嵐山を借景にした庭園が眼前に広がります。まさに至福のひと時です。

静寂に包まれた鹿王院で、日常世界から離れ、「古き良き日本」を

体験し、心を洗う時をしばしすごされてはいかがでしょうか。

なお、紅葉シーズンは夜間ライトアップの関係で宿坊体験はお休みとなります。



夜間特別拝観

鹿王院では秋の紅葉シーズンに夜間ライトアップを行っています。夜間ライトアップでは夜の鹿王院を楽しめるだけでなく、お抹茶や和菓子を味わったりすることができます。2023年は3年ぶりの開催となり、11月8日（水）～12月17日（日）の期間で行われていました。実施日などについては、サイトにてチェックくださるか、直接、鹿王院にメールにてお問い合わせください。





Cエリア情報（嵐山駅）



嵐山は、旅人が途切れなく訪れる京都観光の一番人気のスポットです。先にも述べたように、嵐山と京都の西の玄関口だった四条大宮を結ぶ路面電車として、嵐電は始まりました。嵐電の嵐山駅から歩いて半日で巡れる嵐山エリアを堪能していただくために、「見逃したくない庭園」「嵐山に所縁の深い古典文芸」「嵐山の自然」の3点に注目して、嵐山を深掘りする「ぶら歩き」3コースを提案します。

嵐電駅から、足を延ばして、少しでも人の少ないエリアで嵐山を満喫されたい方は、レンタサイクルがおすすめです。

ぜひ、[らんぶらレンタサイクルマップ](#)（これも私たち学生が制作したものです）を参考にしてください。自転車に乗りながら感じる嵐山の風や陽射しはとても気持ちよいものです。これらのマップでも、大学生が提案する魅力的なサイクリングコースが紹介されています。

らんぶらレンタサイクルには、嵐山駅構内で楽しめる足湯券が付いています。

お薦め：3つの散策コース（C-1 C-2 C-3）

駅近のぶら歩き旅には、つぎの3コースがお薦めです。

C-1 コース：名園を巡りながら嵐山を堪能する散策コース

C-2 コース：古典文芸に所縁の深いスポットを巡る散策コース

C-3 コース：嵐山の自然を体感して味わう散策コース

67

C-1：名園を巡りながら嵐山を堪能する散策コース

* 早朝の散策スタートがお勧めです。嵐山は、京都市内の中で、一番早く朝日に照らされます。朝日の中で、荘厳な景色を堪能できます。

嵐山駅



徒歩 2 分（曹源池庭園まで 9 分）

天龍寺 天龍寺には、曹源池庭園^{そうげんち}を巡る入園料が別売されています。曹源池庭園から、百花苑をぶら歩き。その先の北門から出て竹林の小径へ行けます。

徒歩 4 分

大河内山荘^{おおこうち} 大河内山荘庭園には、素晴らしい絶景ポイントがいくつかあります。回遊型庭園をお楽しみください。出口に沿って、まっすぐ行くと、亀山公園があります。



嵐山駅

徒歩 2 分

亀山公園 入園無料。春には、桜が堪能でき、秋には、嵐山の紅葉が楽しめます。桂川沿いを嵐山駅方面に進むと福田美術館があります。

徒歩 8 分

福田美術館で、日本の伝統的な絵画を鑑賞しながら、しばし、足をお休めください。カフェから楽しめる庭園も桂川を借景に心が癒されます。

68

徒歩 5 分

C-2：古典文芸に所縁の深いスポットを巡る散策コース

* 途中にあるカフェや豆腐店・酒店など、立ち寄りスポットも魅力的です。

嵐山駅



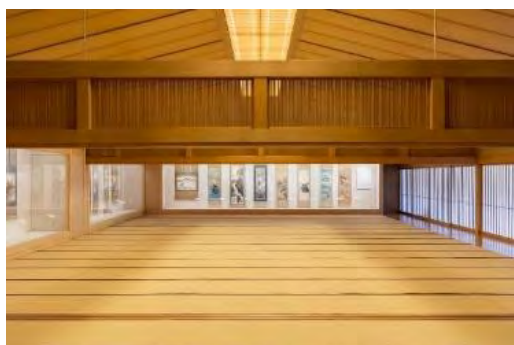
徒歩 22 分

じょうじゃっこうじ

常寂光寺

竹林の小径を通り抜け、常寂光寺へと至る道は、とても風情のある景色が続きます。途中、「嵯峨野楓かえでカフェ」に立ち寄るのもお勧めです。

徒歩 5 分



嵐山駅

らくししや ぎ おうじ
落柿舎 祇王寺に向かう途中で、落柿舎に立ち寄ります。芭蕉の弟子の去来が別荘として建てた草庵です。俳句の聖地で、一句、ひねってみてはいかがですか。

徒歩 13 分

祇王寺 祇王寺は、中世文学の古典「平家物語」に登場する祇王が恋に破れ、身を寄せた寺です。常寂光寺とともに小倉山の麓に佇みます。美しい苔庭は必見です。

徒歩 19 分

もり か せりょう
嵯峨豆腐「森嘉」 祇王寺から清凉寺に向かい、嵐電の嵐山駅方面に戻ります。途中には、嵯峨豆腐「森嘉」や地酒が購入できる「酒店おまっとう」があります。天龍寺の入り口から入って、嵯峨嵐山文華館へ近道します。

徒歩 25 分

嵯峨嵐山文華館 ここは、小倉百人一首をテーマとするミュージアムです。館内のカフェもお薦めです。

徒歩 11 分

C-3：嵐山の自然を体感して味わう散策コース

* 嵐山の自然の中の散策をゆっくりと堪能ください。

嵐山駅



徒歩 4 分

嵐電の嵐山駅から、^{とげつきょう}渡月橋に向かい、対岸に渡ります。橋の途中で、嵐山の絶景をしばしお楽しみください。渡月橋を渡し、さらに小さい橋を渡ります。

70



徒歩 12 分

嵐山モンキーパーク その後右手へ進むと、「嵐山モンキーパーク」の入り口の看板が立っています。山道を登ると、パークに着きます。野生のニホンザルを近くから観察できます。



徒歩 8 分

嵐山通船 モンキーパークから桂川に戻ると、すぐに、嵐山通船の南乗り場があります。舟から味わう嵐山の風情は格別です。舟を降り、小道を上流に向かいます。



徒歩 20 分

大悲閣千光寺 この辺りは、嵐山駅周辺と打ってかわって、川辺の静かな散策を楽しめます。ほどなく、千光寺入り口の看板に行きたりします。山道を登った先に千光寺があります。



嵐山駅

徒歩 30 分

風風の湯 旅の疲れを温泉で癒しましょう。温泉源泉から湧き出た湯にゆったりとつかることができます。まさに、心身ともに自然に包摂される至福の時間です。

徒歩 13 分

71

C-1：名園を巡りながら嵐山を堪能する散策コース詳細情報

天龍寺 [世界遺産 | 天龍寺 \(tenryuji.com\)](http://tenryuji.com)

[Google マップ](#)

嵐山駅を出て、横断歩道を渡り、右折すると天龍寺山門の前にでます。世界文化遺産にも認定されている臨済宗天龍寺派の大本山です。日本で最初に史跡・特別名勝に指定された庭園、曹源池庭園が有名です。

天龍寺は、1339 年に足利尊氏によって創建されました。その当時、天龍寺は現在の約 10 倍もの敷地面積を誇っていました。しかし、8 回にも及ぶ火災によって、創建当時の建物は残っていません。

天龍寺の修行僧は、毎日欠かさず午後 9 時から、必ず行われます。曹源池庭園に面して行われる夜坐です。修行僧は、夕刻 5 時から修行道場の禅堂で坐禅し、その後、午後 9 時から約 2 時間、大方丈の縁側で曹源池庭園に向かって坐禅します。これを夜坐と言います。

だから、天龍寺では夜間ライトアップイベントは行いません。この時間帯、修行僧が厳しい修行に取り組んでいるからです。

その代わりに、早朝、参拝者は静けさの中で、この名庭を満喫することができます。京都市内で、朝の日出が最初に射すのが、嵐山。朝日に照らされた荘厳な一瞬をお楽しみください。

曹源池庭園

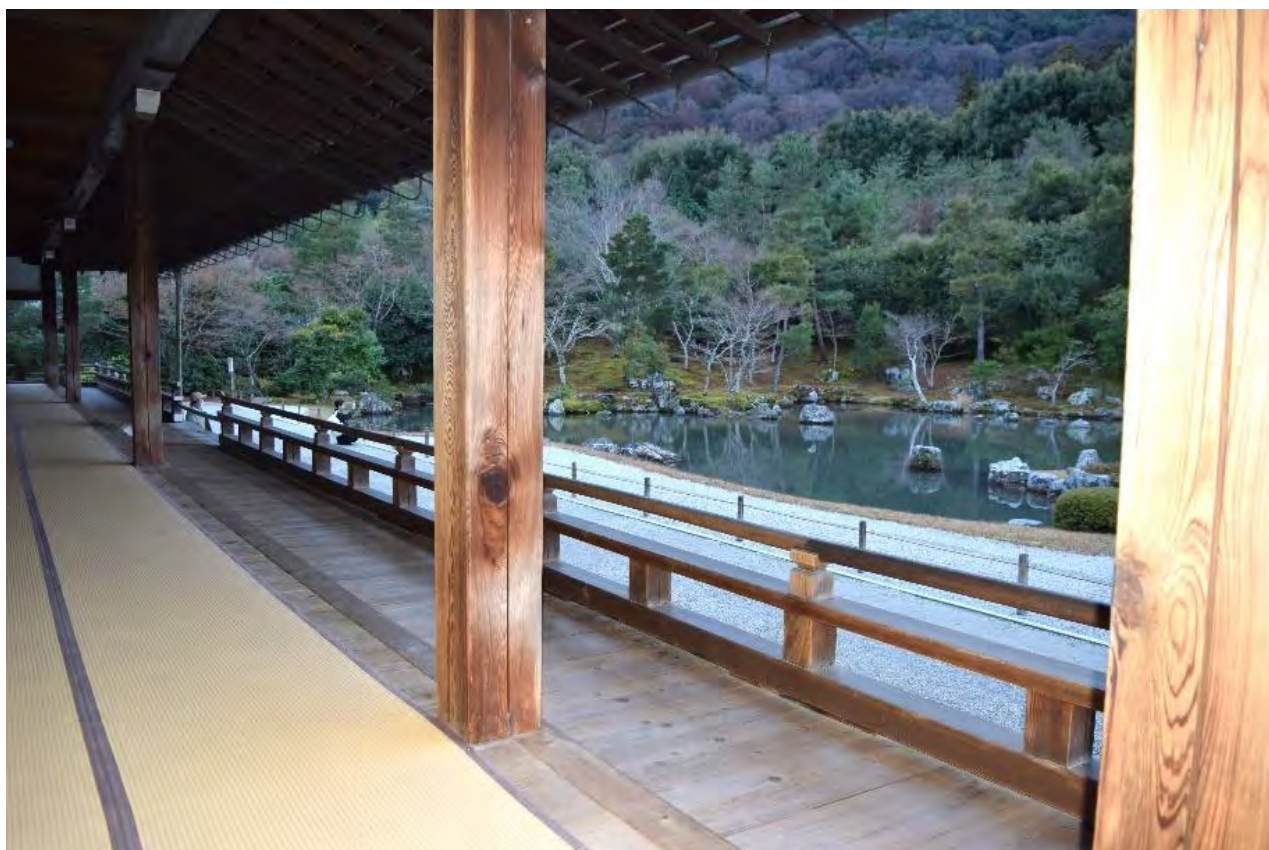
曹源池庭園は、天龍寺創建の際に、夢窓疎石(むそうそせき)によってつくられた名庭です。夢窓国師は、この庭園に直面することにより、心を落ち着かせ、自然と1つになって精神鍛錬することを目指したのです。

72



コロナ禍の際、天龍寺は参観者に対してけっして門を閉じないと決断しました。そんな折、たびたび、天龍寺を訪れていた、ある拝観者は、「曹源池庭園を眺めていると自然と涙が溢れてきて、つらい思いが洗われる」と漏らしたそうです。天龍寺宗務総長の小川^{しゅうせい}湫生師は、この言葉を聞いて、あらためて、夢窓疎石がこの庭に込めた思いを感じ入ったとのことでした。

2023 年冬、小川湫生師は、天龍寺修行僧が雪の中でも、素足にわらじで托鉢（鉢を持って、市中を回り施しを受ける）の修行を行う写真を私たちに見せながら、天龍寺が、僧を育成する厳しい修行道場であることを説明してくださりました。



嵐山をみごとに借景として取り込んだ名庭は、紅葉の季節にいつも美しさを増します。10月頃から色づき始め、黄色の葉、青紅葉、熟した赤葉といった3色の紅葉を楽しむことができます。11月中旬～12月上旬にかけて紅葉のピークを迎えます。紅葉シーズンには、開門時間は、通常 8:30 開門から 7:30 開門になるので、「早朝参拝」がオススメです。

曹源池庭園の北側奥には、百花苑が広がります。ここを楽しんだあと、北西端の北門から、天龍寺を出ると、竹林の小径に抜けられます。



大河内山荘庭園

[【京都市公式】京都観光 Navi \(kyoto.travel\)](https://www.kyoto.travel/)

[Google マップ](#)

竹林の小道を左手に進むと大河内山荘庭園があります。日本の映画史に残る時代劇の名優である大河内傳次郎おおこうちでんじろうが 1931 年から亡くなるまでの 30 年間にわたり、小倉山の南側に位置する広大な敷地に心

血を注いで造営した回遊式庭園です。

大きな自然の中に抱かれながら、この庭園を歩いていると、大河内がいかに関山の地を愛したかがひしひしと伝わってきます。矢印に従って庭園を歩いていくと、「一步ごとに景色が変わる」という言葉を実感できます。一本一本の木に丁寧に手が入られ、異なる高さと色を持つ木葉が全体としては調和しています。周囲の景色とも見事に融合し、まるで絵画の中を歩いているような気分になります。

さすが、大河内が、関山の風光に魅せられ、30年間余りにわたって丹精こめて、こつこつと造りあげた庭園です。ところどころに、桜や楓、松が植栽されていますが、まさに自然の山道のような趣です。
げっかてい月香亭からは、比叡山や京の町並みを借景とした素晴らしい眺めを楽しめます。また、山頂の関峡展望台からは、保津川や関山が一望でき、紅葉期には、大悲閣千光寺の色とりどりの幕と紅葉や青紅葉が、絵の具をパレットに広げたように美しく迫ってきます。

大河内は、ここに「持仏堂」を建て、仏教典を読み、朝夕「南無阿彌陀仏」と唱えて過ごしていたということです。そうしたストーリーがいっそう私たちの心を洗ってくれます。









大河内山荘庭園を出て、まっすぐ進むと、公園があります。嵐山公園亀山地区ですが、亀山公園とも呼ばれています。京都府立の公園です。

亀山公園は、明治時代末に、公園として整備されました。小倉山の南東部を占める丘陵地に、赤松を主木に桜、楓、ヤマツツジなどが植えられています。園路が四方八方を巡り、広場や休憩所、展望台、そして、児童向け広場などもあります。西側は保津峡を見渡せる抜群の眺望地となっています。

名前の元となった亀山天皇は第90代天皇で、その離宮・亀山殿があった場所が天龍寺になりました。嵐山公園は「日本さくら名所100選」・「日本の紅葉の名所100選」に選ばれた桜の名所・紅葉の名所です。嵐山公園中之島地区は桜・松などが植えられています。





上写真（1979年に日中平和友好条約を記念して建てられた周恩来が若き日に嵐山で読んだ詩文が刻まれた石碑がある）

右写真（1608年に大堰川＝桂川を私財を投じて開削した京都の豪商
すみのかうりようい
角倉了以の像がある）



[Google マップ](#)

福田美術館には、江戸時代から近代にかけての、主要な日本画家の作品で構成されるコレクション 2,500 点余りがあります。「たとえ美術に詳しくない方が見ても、感動をおぼえるような作品群」がコンセプトであり、京都画壇を中心とした様々な作品を鑑賞することができます。

福田美術館の建物は、京都の伝統的な町屋の特徴を取り入れ、周囲の景色とも調和を図りつつ、金属やガラスなどを駆使した和モダンの外観が特徴です。「蔵」をイメージした展示室、「縁側」のような廊下、あじろもよう網代模様をデザインに取り入れた壁面ガラスなど、内観にも随所に和の要素が取り入れられています。庭には大きな水盤が設けられ、生け花のように植えられた四季折々の草花とともに、嵐山を借景にした美しい景色が広がります。





来館者のみが利用できる館内のカフェからは、桂川、渡月橋、嵐山までを 180 度パノラマで借景とする庭園を楽しみながら、軽食やドリンクを楽しむことができます。他にも、ショップが併設されており、所蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズや、京都ゆかりの作家による工芸品の販売も行われています。

福田美術館を出て、嵐山駅に戻ります。駅の足湯で疲れを取ってはいかがでしょうか。



[Cエリアコース一覧に戻る](#)

竹林の小径

[Google マップ](#)

嵐電の嵐山駅を出て、横断歩道を渡り、右折のうえ、300メートルほど進んで左折すると、竹林の小径があります。

途中、紫式部が、平安時代の1008年に創作した日本文芸の傑作『源氏物語』の「^{さかき}賢木の巻」に登場する^{ののみやじんじゃ}野宮神社を左手に見ながら、竹林の小径を北に進みます。

ところで、野宮神社のクヌギ木を使用した黒木鳥居は、日本最古の鳥居の様式です。野宮神社は、恋愛成就の神さまとして、女性に人気のパワースポットともなっています。

嵯峨児童公園を右手に見て進んでいき、マップを確認しながら、左折していくと^{じょうじゃっこうじ}常寂光寺があります。

常寂光寺 [常寂光寺 JOJAKKO-JI](#) – (日本語)

[Google マップ](#)

小倉山の中腹にあり、京都市内や^{ひえいざん}比叡山を一望できる絶景で有名な日蓮宗寺院です。山門付近に、「小倉百人一首編纂之地」の石碑があります。山門から二王門、本堂へと続く山道は、秋には約200本の紅葉のトンネルとなります。調僊祠（かせんし）には、藤原定家と家隆の木像が安置されています。定家が小倉山で編纂したという由来から、「小倉百人一首」という通称が定着しました。



受付をすぎると二王門が待ち構えており、夏には青紅葉、秋には紅葉に包まれています。そして階段を登り、ある程度のところで二王門を振り返ると美しい景色と二王門の堂々とした姿が目に入ります。さらに階段を登っていくと、桃山城の客殿を移築した本堂が現れます。また、階段を登っていくと多宝塔と呼ばれる 12 メートル程の高さを誇る均整のとれた美しい塔が現れます。嵯峨一帯を見渡せる絶景ポイントです。

百人一首では、「小倉山 峰のもみじ葉 心あらば 今ひとたびのみゆき待たなむ」と歌われ、ここの紅葉は、古代から多くの日本人を魅了してきたのです。百人一首は、今では、「競技かるた」というスポーツとして世界に普及しています。詳しくは、[全日本かるた協会 \(karuta.or.jp\)](http://karuta.or.jp)をご覧ください。





俳句は、世界で最も短い詩の形式と言われます。その俳句を芸術の域まで発展させたのが、松尾芭蕉まつおばしょうです。落柿舎は、その弟子、向井去来むかいきょらいが嵯峨野に構えた草庵で、国の有形文化財に登録されています。庭にあった40本の柿の実が一夜のうちに落ちつくしたことから、この名前が付けました。近くに去来の墓があります。日本昔話に出てくるような可愛い古民家です。この草庵には、芭蕉も3度訪れており、「嵯峨日記」を著しています。落柿舎の中には、様々な句碑があります。去来のものだけではなく、芭蕉や他の俳人のものも数多くあるので、ゆっくりと鑑賞してみてください。また、「俳句道場・落柿舎」の投句箱はよく知られており、実際に一句を投稿することができます。そして、入選句は季刊誌『落柿舎』に掲載されます。旅の思い出に、俳人を気取って一句ひねってみてはいかがでしょうか。





ぎおうじ 祇王寺 (giouji.or.jp)

[Google マップ](#)

落柿舎から、元の道に戻り、右折してから 550mほど行くと、祇王寺があります。日本の中世文学の古典である『平家物語』にも、登場する白拍子しらびょうしの祇王が仏門に入り、隠れ住んだ場所です。美しい苔庭でも有名です。

平安時代末期、武士が力をつけ始めます。そのリーダーとして、権力をふるった平清盛に見初められた祇王ですが、その寵愛も長くは

続きませんでした。敗れた恋の悲しさから、祇王はその妹祇女（きじょ）、母刀自（とじ）とともに、尼となって身を寄せたのがこの場所です。境内の隅には彼女らを吊う墓が建てられています。また、堂内には平清盛と祇王、祇女、刀自、恋敵となった仏^{ほとけ}御前の木像が並んで安置されています。





祇王寺から、もと来た道に戻り、左折して、清涼寺^{せいりょうじ}方向に向かいます（[清涼寺（嵯峨釈迦堂）- Google マップ](#)）。この清涼寺は、『源氏物語』の主人公・光源氏のモデルだといわれる源融（みなもとのとおる）の山荘があった場所で、彼の死後、寺とされました。百人一首の中では源融は、河原左大臣と称されており、その和歌が納められています。清涼寺には源融の墓もあります。

清涼寺の山門を過ぎて、50mほどで、左手に、豆腐の名店、森嘉^{もりか}があります。

[Google マップ](#)

地元の食通は、豆腐といえば、ここ、嵯峨豆腐森嘉だと言います。森嘉は150年以上の歴史をもつ老舗豆腐店であり、ノーベル賞作家、川端康成かわばたやすなりの小説『古都』にも登場する歴史ある豆腐の名店です。豆腐の味が分かるか否かが、京文化の通と言われています。チャレンジしてみてください。豆腐だけでなく、油揚げやがんもどきなどをテイクアウトして、醤油、塩などお好みで、食してみてください。

91





酒店おまっとう [「おまっとう」 \(kyotoomatto.official.ec\)](http://kyotoomatto.official.ec)

[Google マップ](#)

「おまっとう」は京都の地酒を取り扱っている老舗酒屋です。200年という長い歴史の中で、確かな目利きで最高のお酒を私たちに届けてくれています。また、京都のお酒だけでなく、日本中から集めたこだわりの日本酒や焼酎も販売しているため、たくさんのお酒を比較しながら、一番自分に合う日本のお酒を選べます。



「おまっとう」の向かいには、利き酒ができるメニューがあるレストランもあります。「おまっとう」を出て、そのまま、まっすぐに 600 m行くと、天龍寺の山門に戻ります。天龍寺に入ってから左折すると嵯峨嵐山文華館にショートカットで辿り着けます。

嵯峨嵐山文華館は、小倉百人一首や日本画など、京都にゆかりのある芸術や文化を振興するためにできたミュージアムです。百人一首の常設展示に加え、年に4回ほどの企画展が行われています。常設されている百人一首の展示では、全ての和歌が英語で表記されており、日本語とは少し違った和歌の雰囲気を感じることができます。そして、作者のフィギュアも一緒に展示してあるのも面白いです。

また、2階の畳ギャラリーでは企画展の展示が行われています。120畳の広々とした空間に展示された日本画はとても壮観です。ここでは、座って展示を楽しむこともできます。各企画展によって、俳句を詠んだり、ぬりえをしたりするなどの体験コーナーが設けられていることもあります。

ギャラリーの他にも、館内には、ミュージアムショップやカフェなどが併設されています。入館者でなくても楽しめるカフェでは、嵐山の景色を眺めながら休憩をするのに最適です。





嵯峨嵐山文華館を出て、右手に行くと、桂川にぶつかります。川沿いを左手に行くと、渡月橋に行き当たり、そこを左に折れると嵐山駅前商店街が嵐山駅まで続きます。

渡月橋

[Google マップ](#)

嵐電の嵐山駅を出て、横断歩道を渡り、左折して、商店街を進むとほどなく、桂川に行き当たります。その左手すぐに、嵐山のシンボル、渡月橋があります。亀山天皇(1249 年—1305 年)が上皇の時、橋の上をゆっくり月が移動していくのを見て、「くまなき月の渡るに似る」と表現したことが渡月橋の由来とされています。平安京が開かれた時に、橋が架けられたとのことですが、その場所は今とは違ったようです。この一帯は洪水が多く、橋はたびたび流失し、1467 年～1477 年に勃発した「応仁の乱」という大戦乱で、京の都はほぼ焼失しましたが、橋も焼失しています。1606 年、^{すみのくらしやうい}角倉了以（京都の豪商）は、現在の貨幣価値にして 150 億円ほどの私財を投じて、治水工事を行いました。今日の嵐山は、こうした先人の努力の末に築かれた景観なのです。今まで、いかだでしか運搬できなかった米や塩・木材などの物資も船で運ぶことができるようになりました。その治水工事の際、現在の位置に、橋は架け替えられました。現在の渡月橋は、1934 年に鉄筋コンクリートでつくられたもので、それから流失・損壊は起きていません。

渡月橋を左右の景色を楽しみながら渡り、さらに、もう 1 つ橋を渡ると桂川の対岸に行きます。行き当たって、小さい道に右折して坂道を登ると、「嵐山モンキーパーク」の入口に至ります。



「嵐山モンキーパーク」は、約 120 頭のニホンザルが野生の状態で暮らしています。猿たちが集まる山頂の休憩所までは、約 20 分のハイキングコースとなっています。実際の体感時間としては 30 分ほどかかると思っていたほうがいいかもしれません。さらに、坂も傾斜が大きい場所やつづら折りの場所があることから、ハイヒールやサンダルは避けた方が良いでしょう。

山道を登り切った所には、長い滑り台が人気の運動場にあり、猿との触れ合いの後でも楽しむことができる場所です。

モンキーパークでは猿への餌やり体験ができます。餌はバナナやりんご、落花生など 1 袋 100 円程度で購入することができます。餌は私たちが小屋の中に入り、外の猿が金網越しに受け取るという形であげることができます。展望台にでると京都の街の景色を猿とともに楽しむことができます。

また、飼育員の方にお問い合わせすれば、猿と一緒に写真を撮ることもできます。猿には近づきすぎないように注意喚起されているのでしっかりと守るようにしましょう。





嵐山通船南乗り場

[嵐山屋形船 | 嵐山通船 \(arashiyama-yakatabune.com\)](http://arashiyama-yakatabune.com) (日本語)

[Google マップ](#)

船は渡月橋上流で運行しており、川の岸边から出発します。屋形船では、船頭さんが操る長い竿で、緩やかに流れる川を上流へと進み、千光寺近くまで上って、嵐山の自然を堪能した後、のんびりと戻ってきます。船から見る景色（春は山桜、秋は紅葉）は、渡月橋から見るのとは異なり、格別です。少人数からでも楽しめる屋形船は、家族やカップルにぴったりで、船頭さんのお話を聞きながらのんびりと時間を過ごせます。また、貸しボートも利用できるので、ゆったりとひと時をお楽しみください。



嵐山通船南乗り場から、1 k mほど上流に向けて小道を散策します。嵐山駅近くの喧騒とはうって変わり、静逸な場で心を静めることができます。小道から、急な坂を、歩いて登ると千光寺があります。

千光寺は、角倉了以が、この一帯の治水工事に当たった際に亡くなった人びとを弔うために、この地に建てたものです。

境内の「大悲閣」からは、嵐山のみならず京都の街を眺めることができます。江戸時代の有名な俳人である松尾芭蕉は、「花の山 二丁 上がれば 大悲閣」と詠んでいます。受付をすぎると、角倉了以の木像が据えられており、だれでもお線香をあげ、お参りすることができます。





今ある嵐山の絶景も、桂川の治水工事に当たった先人の血と汗によるものだと感謝しつつ、ここからの絶景を味わいたいものです。

[Google マップ](#)

千光寺から渡月橋に向かって、来た道を戻り、300m ほど進むと「京都 嵐山温泉 風風の湯」の看板があります。そこを左折すると入り口があります。

ここは、嵐山温泉の源泉地にある日帰り温泉施設です。嵐山観光を楽しんだ後にリフレッシュできる癒しスポットとして人気を集めています。阪急電鉄嵐山駅からも徒歩 2 分と駅からのアクセスが非常に良いのも人気のポイントです。

受付には、タオルが販売・レンタルされているほかに、アメニティ類も充実しています。浴室にはシャンプー類も備えられているので、手ぶらで気軽に立ち寄ることができます。日本のお風呂のエチケットについては、このガイドブックの「緊急時やお困りの際に便利なリンク情報」欄にある「[お風呂の入り方などの独特な習慣について](#)」などを参照ください。

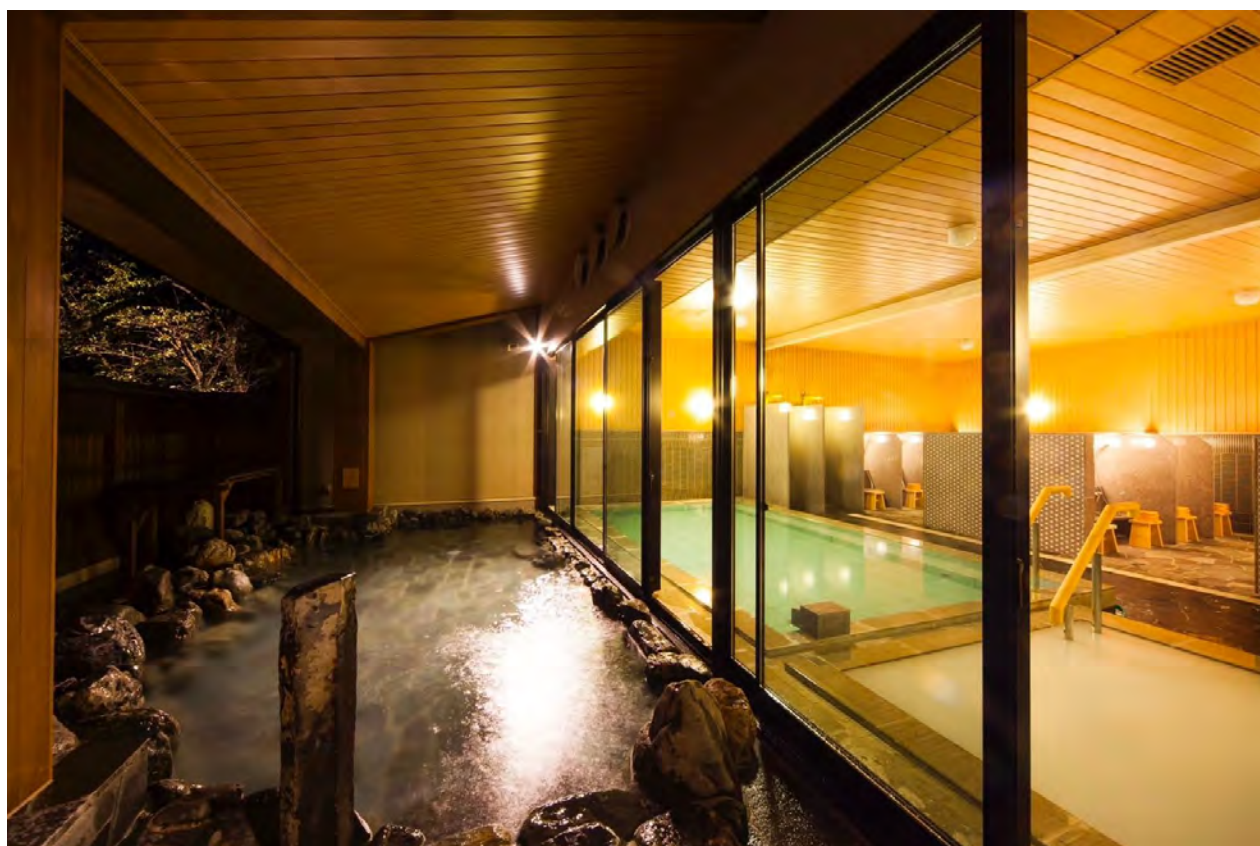
温泉は弱アルカリ性で、美肌効果が期待できます。自然の心地よい風を肌を感じながらリラックスできる露天風呂や、室内浴場には嵐山温泉内湯をはじめ、水風呂やシルキー風呂、ドライサウナが完備されています。女湯には温かい蒸気が体を温めてくれる、ミストサウナもあります。



また、館内リラクゼーション施設では足つぼマッサージが利用可能です。 京都らしい日本の和の空間でゆったりとした時間をお過ごしください。



103



(これらの写真は、風風の湯より提供)

染物体験@^{ゆうさいてい}祐斎亭

【公式】嵐山 祐斎亭 (yusai.kyoto)

[Google マップ](#)

祐斎亭は、染色作家・奥田祐斎さんが「美しき日本」をコンセプトに手掛けた染色アートギャラリーです。祐斎亭は、亀山上皇の離宮、亀山殿跡に立地する築150年明治期の建造物です。もともとは、「千鳥」という料亭旅館で、川端康成が逗留し『山の音』を執筆した場所としても知られています。

この染色アートギャラリーには、世界に類を見ない独自の表現を生み出し、高い評価を受ける祐斎の作品が展示されています。

とりわけ、日光によって色が変わる独自の染色技法「夢こうろ染（ゆめこうろぞめ）」は、優美で独特なものです。こうろ染は、広隆寺の聖徳太子像が纏っている装束（天皇即位時の装束と同じもの）の染色研究から辿り着いた幻の染色技法です。黄色く染められた装束が、日の光に当たると、赤みを帯び、まるで太陽のように色が変わります。こうした神秘性が天皇の高貴さを引き立たせたのでしょう。そして、奥田祐斎さんはこうした古代の染色法を現代に蘇らせたのです。

ここでは、「夢こうろ染」の作品を鑑賞したのち、実際に熟練染色作家による個人指導を受け、オリジナルスカーフ（シルク 100%、45cm×180cm）として染色体験することができます。出来上がったスカーフは、後日、送られてきます。ここ祐斎亭でしかできない、とても、ぜいたくな体験プログラムです。サイトから事前予約のうえ、ぜひ、チャレンジください。



天龍寺で、2023 年時点で、座禅会が行われているのは、「友雲庵^{ゆううんあん}」という建物で、毎月第 2 日曜日 9 時～10 時の間に行われています。参加費は無料で、予約なしに体験できます。ただし、2 月・7 月・8 月はお休みなので気をつけてください。天龍寺において修行僧が毎日、座禅修行している同じ場所で座禅をできるので、とても貴重な体験となります。

私が体験したときも、外国人が座禅に参加していました。座禅の指導は日本語のみで行われています。日本に 2 年以上も住んでいる中国からの留学生の私でも、指導僧が使う仏教用語は理解できないものもありました。隣に座った常連参加者の動きを真似していきましました。指導僧は丁寧に指導してくれ、間違った姿勢は正してもらえます。

座禅の要諦は呼吸を整えることであり、正しく呼吸することによって心身の状態を調整すること、これが座禅の一番重要なポイントであると理解できました。最初の 5 分間の指導と途中の 5 分間の休憩を抜くと、実際の座禅時間は 50 分間でした。1 時間近くも同じところに座ることは、初め想像できませんでした。少々、足がしびれたものの、疲れはまったく感じません。むしろ、心身にエネルギーが満たされ、気分は落ち着き、活力が湧いてくるのを感じることができました。禅宗の本質に少しでも触れることができた貴重な時間となりました。

嵐山温泉「駅の足湯」

嵐山温泉には、疲労回復、神経痛の改善、健康増進などの効能があります。源泉のお湯は、加盟する旅館や嵐電嵐山駅内のホームにある足湯に運ばれ、利用客に楽しまれています。「駅の足湯」利用料は 200 円程度で、持ち帰り可能なオリジナルタオルもついてきます。高めの温度なので、冬でもしっかりと温まることができます。

友禅染めを用いた約 600 本のポールが並ぶ「キモノフォレスト」を眺めながら足湯に入ることができ、嵐山観光で一日中歩き回った足の疲れを癒してくれます。利用券（タオル付き）は嵐山駅構内のインフォメーションセンターで購入してください。



107



[C エリアコース一覧に戻る](#)

[エリア選択ページに戻る](#)

[サイト目次に戻る](#)

D 御室・鳴滝エリア（妙心寺駅～鳴滝駅）



嵐電北野線（帷子ノ辻駅～北野白梅町駅）沿線には、1994年にユネスコ世界文化遺産として指定された寺院が3つもあります。Dエリアの世界文化遺産は、**仁和寺**です。真言宗御室派総本山の仁和寺と禅宗の臨済宗妙心寺派総本山の**妙心寺**の2つの古刹を巡る「ぶら歩き旅」はいかがですか。宗派は異なりますが、いずれの寺院も、今なお若き僧が厳しい修行に励む訓練と教育の場です。2つの古刹を巡りながら、現代も日本に生き続ける仏教の姿に触れる歩き旅です。その他にも、観光スポットとしては、日本の伝統芸能である「能」を間近で味わえる**杉浦能舞台**、仏教文化を感じながら、自然溢れる山道の散策を楽しめる**八十八か所巡り**がお薦めです。仁和寺の御室桜が江戸時代からの名所となっています。また、鳴滝駅～宇多野駅間は、春に桜が楽しめる、「嵐電桜のトンネル」として有名です。散策コースの途中には、木材から選んで手にぴったりフィッ

トする特注箸を作ってもらえるお箸工房、昭和レトロの雰囲気を堪能できるワンダーカフェなど、ユニークなお店がたくさんあります。

お薦め：仁和寺・妙心寺、2つの古刹を巡る散策コース（D-1）

御室仁和寺駅



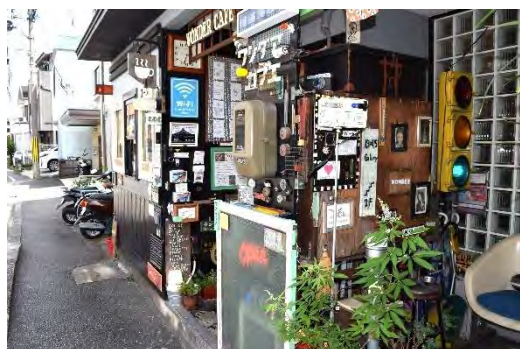
徒歩 4 分

仁和寺 御室仁和寺駅を出るとすぐ先に、仁和寺の二王門が見えます。左手に受付があり、仁和寺御所庭園見学は拝観券が必要です。直進すれば、金堂・五重塔を外から参拝できます。

徒歩 7 分



お箸工房 お箸を特注で作ってもらえるお箸工房があります。ゴマを箸で掴める。これが日本の繊細な箸の特徴です。妙心寺駅踏切を渡って、右手には、ワンダアカフェがあります。このカフェもお薦めです。



徒歩 3 分

ワンダアカフェ レストラン内には懐かしい様々な物品や雑誌が所せましと展示されています。ご主人が長年、収集されてきたレトロな逸品に囲まれてリラックスされてください。

徒歩 3 分



妙心寺駅

妙心寺 妙心寺北門を入れて右手に、寺全体の地図があります。法堂・大庫裏が見学できます。退蔵院・桂春院は、通年で拝観できます。運が良ければ、他の塔頭で特別拝観が楽しめます。

徒歩 8 分

妙心寺塔頭退蔵院 退蔵院は、北門からは、一番奥にあります。「元信の庭」「余香苑」という2つの庭園は、対照的で必見です。その後、境内を歩き、花園会館に立ち寄ります。

徒歩 7 分

花園会館・売店 妙心寺の境内を散策し、花園会館に立ち寄ったあと、桂春院に向かいます。妙心寺北門から、嵐電の妙心寺駅へと戻ります。

徒歩 21 分

仁和寺 [世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺 \(ninnaji.jp\)](http://ninnaji.jp)

Google マップ

御室仁和寺駅で降りて改札口を出ると、仁和寺の二王門^{におう}が目飛び込みます。仁和寺は888年創建。応仁の乱(1467-77年)でほとんど焼失しましたが、1646年に徳川幕府により再興されました。

宇多天皇^{うだてんのう}（在位：887年～897年）が上皇になり出家して、ここに住んだことから「御室御所」とも呼ばれ、1867年まで住職を天皇家からお迎えしていた皇室との繋ぎの深いお寺です。

二王門を通過してすぐ左手にある仁和寺御所庭園は、入るには拝観料が必要です。かつて、御殿は住職の住まう場所として使用されていましたが、天皇以外が入れない格式高い部屋もあります。仁和寺御所庭園は一見する価値があります。

また、境内には、京都御所の紫宸殿^{ししんでん}から移築された、御所建築様式が窺える国宝「金堂」が、二王門からまっすぐに進み、中門をくぐったその奥にあります。その途中には、創建から380年ほど経った「五重塔」など、魅力ある文化財が多く点在しています。



ところで、二王門の両脇には、二王像が立っています。皆さんは、この左右の二王像の違いは分かりますか？良く顔を見てみてください。



左右の二王像は、何と言っている？

二王門の左右の二王像をよく見てみると口の開き方が違うことに気が付きます。口を開いた音は阿（a）、そして口を閉じた音は吽（hum）。サンスクリット語音韻の最初の音と最後の音であり、ギリシャ文字の α と ω に相当します。そう、私は α であり、 ω であるという聖書のフレーズと同じです。仏教では、「阿吽」は、万物の創めと終わりに満ちる英知を象徴しており、この門から先が聖域であることを示しています。

ちょっと不思議な御室桜

仁和寺の桜は御室桜と呼ばれ、「日本桜の名所 100 選」にも選ばれています。御室桜には、普通の桜と異なる特徴が2つあります。1つ目は、低木であることです。その理由は、自然の土壌のせいと言われてきました。しかし、筑波大学・千葉大学との共同研究プロジェクトによって、仁和寺の桜の下の土壌は粘土質の層であることが分かりました。これが意図的な造園だとすれば、景観づくりのため、桜の背が成長しないよう意図的に工夫されていたわけです。江戸時代の造園技術の高さには驚かされます。背が低いことによって、私たちの視線の高さで桜の花を見ることができます。目前に広がる桜の花を見ていると、まるで花の雲海の中にいるような気分です。2つ目の特徴は、遅咲きということです。御室桜の見頃は京都市内より1週間ほど遅れます。この理由は、御室桜の多くが御室有明という品種であることです。京都市内で桜を見逃した方でも、仁和寺に来ればまだ間に合うかも知れません。伽藍エリアで開催される「御室花まつり」は有料となります。





仁和寺では、この他にも、ドローンを飛ばして、定期的に境内の建物を瓦の位置まで3D画像で正確に把握し、保守点検に活用するなど、科学的な取り組みを進めています。また、境内の各所にQRコードが提示されており、多言語の解説をスマホから聞くこともできます。

俗世を離れ、平安の夜へ

仁和寺には1泊100万円からの価格設定で「松林庵」に宿泊することができる特別な体験プランがあります。閉門時間以降の仁和寺が貸し切りとなり、別途に手配すれば、様々な文化体験を楽しむことができます。仁和寺を貸し切りで過ごす一夜は、特別な経験となること間違い無しです。一生の記念にしたいと思われる方は、ぜひ、チャレンジしてみてください。



仏像や国宝「金堂」内部を VR で鑑賞

仁和寺では、仁和寺の貴重な仏像や金堂の内部を間近で鑑賞できる VR 体験も可能です。仏像の細部をあらゆる角度から間近で見られます。また、特別公開時にしか見ることができない金堂内部も VR 体験で見ることができます。音声ガイドも英、韓、中、日、スペインの 5 カ国語対応です。一度に最大 4 名体験できるよう。所要時間は、約 20 分。ただし、実施期間・費用など、詳しい情報は、[京都観光 Navi](#) で検索ください。事前予約制です。

116



おはし工房

[京都おはし工房_京都の誂え御箸専門店 \(kyoto-ohashi.com\)](http://kyoto-ohashi.com)

[Google マップ](#)

仁和寺東端の五差路から、南に 4 分ほど歩くと「おはし工房」があります。道幅が狭いところがあるので、車には十分気を付けてください。

おはし工房では、お箸は全てオーダーメイドです。性別や身長によ

って、自分の手にぴったりと合うお箸を作ることがこのお店のモットーです。じつに豊富な木材から、好きな素材を選ぶことができます。



こうして作られたお箸では、ゴマのような細かい物を掴むのも簡単です。こうした繊細なお箸で食べるご飯は、普段とはまったく味が異なるのが不思議です。

おはし工房のご主人は、メダカの愛好家で、店頭販売も行っています。メダカは、田んぼや小川に生息していた日本では馴染み深い小さな魚ですが、最近は、絶滅が危ぶまれていて、保護活動も盛んです。また、他方で、鯉のように様々な珍しい品種が次々と開発され、日本

では鑑賞用メダカの一大ブームが起こっています。



118

ワンダアカフェ

[@wonder.cafe.kyoto](https://www.instagram.com/wonder.cafe.kyoto) • Instagram 写真と動画

[Google マップ](#)

嵐電の踏切を渡って、しばらく行くと右手に、ワンダアカフェがあります。昭和時代（1926 年～1989 年）の雰囲気漂うレトロな雑貨・図書が所狭しと並ぶ店内は、まさに、日々の喧騒から逃れる絶好の隠れ家です。京都の旅情報を伝えるチラシや冊子も店内にたくさん置かれています。

マスターは、とってもフレンドリー。話しかけてみると、京都のディープな情報を教えてくれます。のんびりと過ごせる「癒しの空間」です。

シュークリームセットやボリューム感ある各種アイスクリームをお試してください。2 階のトイレも、ぜひ、見学してください。



仁和寺二王門から 13 分ほどで、右手に妙心寺北門に行き当たります。途中に嵐電の踏切がありますが、そこが妙心寺駅です。踏切を渡り、道なりに進むと妙心寺北門が右手に現れます。その北門を入るとすぐ右手に境内地図が見えます。

妙心寺は、全国に 3400 余の寺院を有する禅宗の一派である臨濟宗妙心寺派の大本山です。七堂伽藍が整然と建ち並び、46 の塔頭と呼ばれる小さな寺院がそれを取り囲んでいます。国の史跡としても指定されていますが、現在も、禅僧を育てる「修行道場」の役割を果たしており、宗教法人として、保育園から大学まで付属教育機関も持っています。法堂や庫裏、[退蔵院](#)・桂春院などが通年公開されています。

法堂では、狩野探幽作の雲龍図の天井画や国宝の梵鐘を見学できます。この梵鐘は、紀年銘文のあるものとしては日本最古〈698 年〉と言われています。拝観受付は、方丈の入り口にありますが ([拝観について](#) | [妙心寺 \(myoshinji.or.jp\)](#))。



ところで、妙心寺の境内には松ばかりが目立ちます。それは、なぜかということ、臨済宗を開いた臨済義玄りんざいぎげん禅師（?～867年）の逸話を守り続けているからだそうです。

昔、中国で、臨済禅師はお寺に松ばかり植えていました。師である黄檗希運おうばくきうん禅師から「なぜ松ばかり植えているのか」と質問されると、臨済禅師は、「どこから見ても禅のお寺があると分かるように松を植えています」と答えました。これに対して、黄檗禅師は、「お前が作った宗門は大いに栄えるであろう」と返したそうです。

青々とした多くの松の風景に、禅の修行に対する厳しい姿勢を垣間見ることが出来ます。

もちろん、各塔頭寺院内の庭には、梅や桜や沙羅、そしてもみじが植栽されており、四季折々の風情を楽しむこともできます。

運が良く、それぞれの塔頭寺院で開催されている特別拝観に巡り合えば、ぜひ、お楽しみください。それぞれの塔頭寺院は個性的な魅力に溢れています。

禅僧の修行とは

修行専門道場では、雲水たちが厳しい禅の修業をしています。臨済宗の天龍寺でも同じですが、入門するには玄関で2日、ないし3日、頭を下げたままで入門を請い、その後5日間部屋で壁に向かい坐禅をした後に入門を許されてきたとのことです。修行時には、午前3時半に起床、朝の読経、朝食、坐禅、諸堂や庭の掃除、講座、読経。そして昼食の後に掃除、畑仕事、庭木の手入れ、風呂焚きと続き、夕食、坐禅で9時半頃に就寝でようやく1日が終わるという生活が続きます。もちろん学業もあります。ちなみに朝食は粥、梅干に漬物、昼は麦多めの麦飯と一汁一菜、夕食は昼食の残り物でとても質素なものです。ときおり、境内を出て、托鉢修行も行います。「ホォー（法雨）、ホォー（法雨）」と声を上げて歩いていく雲水たちの姿は、古都の風物の1つです。

退蔵院は、通年、公開されている塔頭寺院です。今から 600 年以上前、1404 年に無因宗因禪師^{む い ん そ う い ん ぜん じ}を祀って妙心寺内に建てられた塔頭寺院です。松山大耕副住職^{まつやまだいこう}によれば、退蔵院では、自分とは違う背景の相手を許し受け入れ、相手を理解することを大切にしているとのこと。大耕さんは、禪の教えをかみ砕いて教えてくださります。

退蔵院の受付の脇に、箱庭が置いてあり、傍らの石を使って自由に作庭できるようになっています。自らの心と素直に向き合う禅への道をだれにでも分かりやすい形で提示しています。

まず、方丈に向かうと、国宝『瓢鮎図』^{ひょうねんず}の模写が掲示されています。禅宗では、師（指導者）と弟子の間で、「問答」が行われます。絵には、男が手に瓢箪^{ひょうたん}を持ち、眼前で泳ぐ鯰^{なまず}を睨みつけています。時の将軍、足利義持^{あしかがよしもち}（1386~1428 年）が思いついた「瓢箪で鯰を押さえられるか」という公案です。絵図には、名僧たちが答えた珍妙な答えが並んでいます。

武芸の達人と言われる宮本武蔵も退蔵院に逗留したことがあるそうで、刀のつばに瓢箪鯰のデザインを使用していたとのこと。

方丈の奥の間からは、著名な絵師、狩野元信^{かのうもとのぶ}（1476~1559 年）作の史跡名勝・枯山水庭園「元信の庭」を鑑賞することができます。この庭を見るポイントは、部屋の奥から鑑賞することです。窓の枠に切り取られた一幅の絵として向かうことができますから。さすが、絵師が作庭した名園と納得できます。



退蔵院にはもう1つの庭があります。大耕さんのおじいさまが手掛け、造園家中根金作氏により作庭された余香苑よこうえんです。この庭の池は、瓢箪型ひょうたんをしているそうです。そして、おじいさまは、この池に鯰なますを2匹放したそうです。じつに、ダイナミックな発想で、瓢箪で鯰を捉えて見せたのです。これこそ、先の公案に対する名回答ではないでしょうか！

余香苑には、春に見事な花を咲かせる枝垂桜しだれざくらがあり、蹲つくばいには水琴窟しづらの設えなど、時間を止めた一幅の絵のような元信の庭とは対照的に遊び心に溢れています。こうした庭園と対面しながら、ここでも禅の心の別な側面に触れることができます。

余香苑で、抹茶をいただきながら、庭を眺める至福の時をお楽しみください。







花園会館 [お寺のホテル花園会館 \(hanazonokaikan.com\)](http://hanazonokaikan.com)

Google マップ

妙心寺には、お寺のホテルとして花園会館があります。ここの売店は、仏像や仏具など、お寺ならではの商品が並んでいます。なかでも、お薦めしたいのは、「^{さむえ}作務衣」（右写真）です！作務衣とは、僧侶が掃除や薪割



り、畑仕事など寺院を維持するための労働を行う時に着用する作業着です。そうした雑務も禅宗では、修行の一環と位置付けられています。作務衣を着て、新しい生き方を始めるきっかけとしてみてはいかがでしょうか。



花園会館には、洋室（シングル・ダブル）、和室（10 畳）のお部屋、そして、ご年配の方から車椅子ご利用のお客様も安心のバリアフリールームがあります。また、「てらっくす」という体験型宿泊プランもお薦めです。法堂での座禅体験や抹茶の振る舞い、精進料理を楽しむことができます。開催時期・費用などについては花園会館の公式ホームページで探索ください。

妙心寺は 24 時間、門が開いています。早朝、近隣住民は散歩しながら、静かな境内を楽しむ姿が見られます。花園会館に宿泊して、ぜひ、朝散歩にチャレンジください。

妙心寺では朝から法堂で勤行が行われており、御堂の外からその様子を見学することができます。早朝の静けさの中に響き渡るお坊さんの読経の声は厳かで感動的です。その様は圧巻であり、非日常を体験できるでしょう。

館内のレストラン、「花ごころ」では、うどんやお刺身、精進風料理などの京料理を食べることができます。価格もリーズナブルで気軽に和食を味わいたい方におすすめです。ビーガンの方々には、この九条ネギうどんはいかがですか。



花園会館を出て、妙心寺に戻り、桂春院に立ち寄るのも良いでしょう。妙心寺の小路は、しばしば、時代劇映画やテレビドラマの撮影のスポットとなっています。運が良ければ、そうした撮影現場に遭遇することもあるでしょう。

妙心寺北門から出ると、その向かい側に、写真のようなお花が一杯飾られた民家があります。ご主人の松山國男さんは、まるで、現代の花咲か爺さんです。

嵐電龍安寺駅構内の花壇（下掲写真）のお世話も、松山さんたちが丹精込めてされています。

「花を眺めているとき、人は平和な安らぎに満たされます。自宅の前を行きかう方たちに、そうした幸せを届け、少しでも世界が平和になってもらいたくて、毎日、丹精込めてお花のお世話をしています。」

と松山さんは言います。

こんな方との出会いも、旅の楽しみです。この左側に京料理萬長があります。京都らしいお食事を取りたい方は、ぜひ、お立ち寄りください。この道なりに行くと、踏切に辿り着きます。左右に、妙心寺駅があります。右手が、帷子ノ辻駅行き。左手が、北野白梅町駅行きです。



京料理を、萬長でご堪能ください。
つれづれ弁当など、お手頃な値段で、
京料理が楽しめます。ご主人は、京都
歴史回廊協議会の会長職を務められて
います。



D エリア：お薦め立ち寄り観光スポット

杉浦能舞台 [能を体験する | 能楽師 杉浦豊彦 \(noh-sugiura.com\)](http://noh-sugiura.com)

[杉浦能舞台 - Google マップ](#)

鳴滝駅から歩いて3分ほどに能舞台があります。日本の伝統芸能を代表する舞台芸術である「能」を味わえる場が、こんなにも身近にあるのです。観世流能楽師の杉浦豊彦さんは、先代が自宅練習場として作った総檜造りの能舞台を活用して、多くの人びとに能という伝統文化を楽しんでもらうため「^{なるたき}鳴滝倶楽部」を定期的を開催しています。素人でも楽しめるように、小道具に触れたり、一緒に^{うた}謡いを体験したりするワークショップも行われています。





鳴滝能舞台の特徴は、舞台と客席がとても近く、手を伸ばせば演者さんに届いてしまいそうな距離感で、迫力満点の演技を楽しめるところです。

杉浦能舞台で上演される鳴滝能は、初心者でも親しみやすい工夫が凝らされています。

私たちが参加させていただいた鳴滝倶楽部では、演者自らが曲目を丁寧に解説し（20 分）、ユーモラスな解説を交えながら能装束の着付けを行い（30 分）、その後に演能（40 分）という流れでした。最後には、普通、能の公演では行わない、演者全員の再登場と演者紹介などが行われます。能の演目をただ楽しむだけでなく、演目や着付などまでが、初心者でもわかりやすく、存分に能を楽しめるアットホームな公演でした。この能の普及を目指した「お楽しみ講座 鳴滝倶楽部」は、年に 4 回ほど実施されています。実際に、装束を間近で見る、能面装着体験ができる、謡の練習をするなど、プロの能楽師の指導のもと、貴重な体験を楽しめます。

ただし、このイベントでは通訳などのサービスはありません。外国人観光者の方は、通訳ができる人を同行されることをお勧めします。詳しい情報は、先の公式サイトをご覧ください、イベントの日時を確認し、予約のうえ、ご来場ください。

御室八十八か所巡り

[第一番札所 - Google マップ](#)

[第八十八番札所 - Google マップ](#)

仁和寺の北側に広がる山中で、四国の“お遍路”のミニチュア版を体験することが出来ます。“お遍路”とは、四国 4 県にまたがる第 1 番札所から第 88 番札所を巡礼することで自らの心を清め、自分自身の生き方を見つめ直す修行の 1 つです。

1827 年、仁和寺の警護をしていた寺侍が四国の八十八ヶ所を巡り、各お寺の砂を持ち帰りました。その砂を仁和寺の北側に広がる成就山の 88 箇所^{へんろ}に埋め、その上にお堂を建立して、御室八十八ヶ所が開

かれました。

歩いて、約2時間のコース。歩きやすく整備されていますので、安心して歩けます。途中の休憩スポットや展望スポットでは、天気良ければ、京都市街はもちろん、伏見城まで見渡すことができます。第二十三番の薬王寺の前には休憩スポットがあります。また、第五十番目と第五十一番目のお堂の間には京都市内が一望できる絶景スポットがあります。

近年、八十八か所を若い人にも身近にする工夫として、「御室娘」というキャラクターが考案されました。各所にあるQRコードを読み込めば御室娘のイラストが出てきて、一緒に登っている感覚を味わえます。それぞれのお堂の特徴やご利益が個性に現れた、88人の声優さんと88人のイラストレーターさんが生み出した個性豊かなイメージキャラクター「御室娘」との出会いをお楽しみください！

御室八十八か所巡りは、地元では幼稚園児や保育園児の遠足のコースにもなっている安全なコースですが、急峻なところもあります。くれぐれも、足元に気を付けられ、虫刺され対策にも怠りないように。

すれ違う人びとや追い越しされる人びとに、恥ずかしがらずに「コンニチハ」と声をかけましょう。互いに挨拶を交わすと心が温かくなります。





桜のトンネル（宇多野駅～鳴滝駅）

嵐電北野線の鳴滝駅～宇多野駅間、約 200 メートルの区間は、北野線開業時に沿線の地域住民が整備した桜の並木があり、「嵐電桜のトンネル」と呼ばれています。かつては線路を覆うように桜がトンネルになっていましたが、電車の運行の安全性を高めるため、現在は伐採されて桜並木です。車内からの眺めは桜に覆われているようで、「桜のトンネル」という呼び名がすっかり定着しています。線路両側に植えられた約 80 本のソメイヨシノのなかには、1925 年の開業当時に植えられたものもわずかに残っています。水捌けが良い線路沿いに珍しく根付いた桜に魅せられます。





[妙心寺退蔵院 四季の移ろい 千古不易\(youtube.com\)](https://www.youtube.com/watch?v=...)

[妙心寺 退蔵院 - Google マップ](https://www.google.com/maps/place/妙心寺+退蔵院)

妙心寺の退蔵院の静かな境内では、座禅体験が可能です（要事前予約。10名様以上の団体のみ）。必ず、事前に空き状況をお尋ねください。

私たちも初めて座禅を体験しました。最初、説明を聞き、姿勢の取り方、深い息の取り方、そして、禅の説明について聞いてから、体験となります。自分の呼吸に集中して、周りの音に身を任せていると、自分が宇宙の中の小さな存在に感じられ、大きな自然の中にいたかのような幸せを感じられ、すっきりとした気持ちになりました。

退蔵院での禅体験の外に、春光院でも、90分体験、60分体験とお好みのスケジュールで禅体験をすることが可能です。通訳を介さず、和尚が、直接、英語で 禅の作法や思想を指導してくれる外国人観光客に人気のプログラムです。朝のお勤めから座禅、お茶、書道、精進料理まで、雲水修行僧の疑似体験ができます。インターネットを通じての予約が必要です。





E エリア（龍安寺駅～北野白梅町駅）



140



（嵐電の旧北野駅）

1926 年に嵐電の支線である、嵐山本線の帷子ノ辻駅から分岐する嵐電北野線（帷子ノ辻駅～北野白梅町駅）が開業されたとき、東のターミナル駅は北野白梅町駅ではなく、北野天満宮の大鳥居を少し南

に下がったあたりにあった北野駅でした。京都で古くからの観光地である嵐山と北野天満宮、西陣地域や千本通の繁華街とを繋ぐという狙いがあったからです。

開業当時、北野駅の西隣は馬代通りにあった小松原駅でした。その後、京都市電今出川線の敷設や西大路通の拡幅整備に合わせ、北野線の終点は北野白梅町駅になり、小松原駅は廃止され、現在の北野線の姿になりました。

E エリアには、北野天満宮の他に、龍安寺^{りょうあんじ}と金閣寺という2つの歴史遺産、さらに、等持院^{とうじいん}、立命館大学衣笠キャンパス、そして、立命館大学平和ミュージアムがあります。

百妖箱^{ひやくようばこ}という妖怪グッズ店を中心に「妖怪ストリート」として街おこしに取り組んでいる大將軍商店街やコミュニティ・カフェ「とんぼ」を中心に、「龍の道^{たつ}」として商店街活性化活動を行っている龍安寺参道商店街など、地域の人びとが京都という町の活性化に遊び心を忘れずに楽しみながら取り組んでいる姿のなかに、地域の「輝き＝光」を感じることができます。立命館大学衣笠キャンパスでも、フジバカマの保護活動を目指すSDGsプロジェクトが進められています。

141

学問の神様に導かれて、地域の光に出会う

2つの散策コース (E-1) (E-2)

E-1 コース

北野白梅町駅



徒歩 9分

北野天満宮 北野白梅駅から東へ、9分ほど歩くと、北野天満宮の大鳥居の前に着きます。毎月25日は「天神さん^{てんじん}」の縁日です。この辺りには、多くの露店が軒を連ねます。



鳥居をくぐると、牛の像が左右に並びます。「撫牛」^{なでうし}と呼ばれ、撫牛の体と自分の体を交互に撫でると、天神さんの御神徳を授かるという民間信仰の対象となっています。



北野天満宮の東門から出て、上七軒歌舞練場のところを通り抜けて、上七軒通りに向かいます。上七軒歌舞練場で行われる春秋の踊りと夏場のビアガーデンについては観光スポット情報で紹介します！



上七軒通り^{かみしちけん} 上七軒は、京都でも古い「花街」^{かがい}です。古風な街並みが続きます。上七軒通りを、しばし、ぶら歩きください。素敵なお店が見つかるかもしれません。



徒歩 7 分

上七軒通りから、丸太町通りに出て、北野天満宮へ戻ります。小腹がすいたら、「うどん」はいかがですか。400 年以上経つ古い町屋で、ショウガ味が効いた、珍しいうどんを堪能ください。



北野白梅町駅

徒歩 9 分

E-2 コース

立命館大学衣笠キャンパス前等持院駅



オプションルートのお薦め



徒歩 8 分

等持院 数年前まで、日本で一番長い駅名だった嵐電の等持院駅を降りて北に向かうと、等持院の山門がちょうど、立命館大学の南側の通りに見えます。

徒歩 3 分

立命館大学 等持院を拝観して、右手に折れ、西門を出て、さらに右手に折れて歩くと立命館大学があります。大学は通り抜けできます。

徒歩 8 分

どうもといんしょう

堂本印象美術館 この美術館は、堂本印象自身がデザインした美しい建物です。日本画、油絵、陶器、家具などあらゆる分野で才能を発揮した作品群を堪能ください。

堂本印象美術館を出て、左手を進むと世界文化遺産の金閣寺に、15 分ほどで行けます。混雑したバスを避けて、この散策ルートで、世界遺産の金閣寺と龍安寺を、美術館を挟みながら楽しめるのを推奨します。

徒歩（金閣寺からだ）32 分

徒歩（美術館からだ）13 分



龍安寺駅

龍安寺 世界文化遺産の龍安寺は、
禅の精神を象徴した石庭が有名で
す。その周辺には、鏡容池庭園が広
がり、庭園文化の見事なコントラス
トを味わうことができます。

龍安寺の境内に、西源院^{せいげんいん}があります。
美しい日本庭園を眺めながら、いた
だく豆腐料理は、絶品です。外国か
らの観光客も注目するスポットの
1つです。

144

龍安寺の前に、京こもの衣笠、京
つけもの^{とみかわ}の富川があります。
京都旅行の思い出の品を求めるこ
とができます。富川の京つけもの
も絶品です。

徒歩 8分

龍安寺参道商店街 龍安寺を出て、
嵐電龍安寺駅の間に、コミュニテ
ィカフェ「トンボの家」がありま
す。この商店街は、「龍の道」と称
して地域活性化の地道な活動を行
っています。ここでも、お店をいく
つか紹介します。

徒歩 3分

E-1: 学問の神様に導かれて、地域の光に出会う散策コース(その1)

詳細情報

北野天満宮 [北野天満宮 \(kitanotenmangu.or.jp\)](http://kitanotenmangu.or.jp)

Google マップ



145

嵐電北野白梅駅を降りて、東に向かって歩くと、9分ほどで、北野天満宮の大鳥居の前に出ます。

北野天満宮は 947 年に創建された神社です。諸学に優れ、平安朝で太政大臣（政府の最高機関の長官）にまで昇りつめた菅原道真公すがわらのみちざねが祀られています。菅原道真公をお祀りしている神社は全国に約 1 万 2000 社あると言われていますが、北野天満宮はそれらの総本社です。

菅原道真公は非常に優れた役人でしたが、無実の罪によって九州へ左遷されました。道真公の死後、京では、飢饉、皇族の不幸、落雷たたの被害などが続き、こうした災いは、道真公の「祟り」であるとされました。朝廷は、道真公の無念を慰めるため、道真公を祀って北野天

満宮が創建されました。

道真公は学者・文人・政治家として優れた才能の持ち主であったことから、学問の神様として、人びとに親しまれるようになり、今でも毎年、多くの受験生や学問や習い事・芸を志す人びとが訪れます。

神道では、万物に神が宿るとされています。日本では、大岩や大木・老木などが「神」が宿ったものとして祈りの対象となります。日出の太陽に手を合わせて、祈る姿もしばしば見かけられます。そして、神道では、すぐれた人物も、「神」として崇められるのです。

北野天満宮で禰宜^{ねぎ}を務められている東川楠彦^{ひがしかわすひこ}さんは、「神道は森羅万象、すべてに神（霊性）を認めるという考え方が本幹であり、人間は常に自然と共生しながら、その恵みを受けて生かされているという考え方を大切にしています。宗教というより、我々日本人の身近な日常生活に深く溶け込んでいる生き方です」と私たちに説明してくれました。

牛と神道

大鳥居をくぐると、左右に牛の像が置かれているのに気づきます。牛の像は、すべて、人びとから奉納されたもので、目が赤い牛や子牛を連れた母牛など、その姿はいろいろです。





これらの牛は、撫^{なでうし}牛と人びとに親しまれ、治癒してもらいたいところを撫でると願いが叶うとされています。

一番古いと伝わるのは、御本殿裏の左奥、小さな鳥居の傍に置かれた顔が欠けている牛の像です。いつ作られたのかという記録さえ残っていないほど古く、参拝者の願いを一つ叶えてくれるため、「一願成就（いちがんじょうじゅ）のお牛さま」と呼ばれて親しまれています。

北野天満宮における古来の参拝の風習は、まず、御本殿をお参りした後に、裏にまわり、「裏の社（やしろ）」にも参拝する。そして、「一願成就のお牛さま」に祈願して、絵馬をかけるという流れだったそうです。



天満宮に息づく「自然」

天満宮では、2月～3月にかけては梅、6月は青もみじ、11月は紅葉というように、四季折々に、様々な自然を楽しむことができます。天満宮内に約1500本ある梅は、梅の花が好きだった菅原道真公を偲ぶために植えられたもの。白、赤、薄いピンクなど様々な色の梅の花が私たちの目を楽しませてくれます。梅苑公開の時期にはお茶とお菓子を食べながら眺めることができます。夏から秋にかけては、もみじ。じつは京都でも、街中では古いもみじを見られる場所は少ないの

ですが、この北野天満宮には、約 400 年前から自生しているもみじがあります。もみじ苑は、期間によって青もみじと紅葉の二種類が行われており、どちらも壮観です。

梅苑「花の庭」：2月上旬から3月下旬

もみじ苑（青もみじ）：4月中旬から6月下旬

もみじ苑（紅葉）：10月下旬から12月上旬

入苑時間：9時～16時





上七軒通り

北野天満宮を参拝した後、東門から出て、上七軒通りに上七軒歌舞練場の前を通り抜けていきましょう。

上七軒歌舞連場については、このEエリアの観光スポット情報欄で、後で詳しく説明します。

上七軒通りは、北野天満宮のすぐ東側に位置している、京都最古の「花街」の1つです。「花街」とは、芸妓遊びができる茶屋を中心に形成される街のことです。ただし、舞妓さんや芸妓さんがいるお店は、「一見さんお断り」の場合が多く、観光で訪れても実際にお店に入ることはできません。

芸妓遊びのできるお店には入れなくても、上七軒通りは十分に楽しむことができます。



一見さんでも、舞妓さんに出会える機会があります。上七軒歌舞練場で春秋に行われている歌舞会と夏のビアガーデンです。これについては、後ほど、観光スポット情報でお伝えします。

上七軒通りには、高価格帯の懐石料理のお店から、気軽に入れるカフェまで揃っており、かわいい和風の雑貨を取り扱っている店もあります。

景観を大切にしているため、郵便局なども外観が古風なデザインに統一されており、他とは違う街並みの雰囲気を感じられます。それほど長い通りではないので、ゆっくり歩いて緩やかな時間の流れを感じてください。

上七軒通りから今出川通りに出て、北野白梅町駅へ戻ります。途中、北野天満宮の付近には、魅力的な食事処や甘末処が並びます。いくつか、お薦めのお店を紹介していきましょう。

天神堂 [「やきもち」天神堂 | 京都ツウ読本 \(kyototwo.jp\)](http://www.kyototwo.jp/yakimochi/)

天神堂 - Google マップ

昭和 27 年創業の「やきもち」が有名な和菓子屋さんです。「やきもち」と大きく書かれた看板とのれんが目を引くものの、とてもシンプルな店構えです。ご家族 4 人でお店を切り盛りしています。いつもは、名物の「やきもち」しか販売しておらず、冬季限定で「田舎饅頭」「三笠饅頭」「ろっぽうやき」を販売しているそうです。「やきもち」はお手頃価格で、食べ歩きにも、お土産にも最適なお菓子です。自家製の粒あんをお餅で包んでおり、素朴な味わいで、食べ終わった後に、つい、もう一個食べたくなってしまうおいしさです。「やきもち」は売り切れ次第、お店も閉められます。地元の方によると、午前中に販売終了となってしまうことも少なくないらしいので、午前中にお立ち寄りください。



カステラ・ド・パウロ [Castella do Paulo \(カステラ ド パウロ \)](#)

[Google マップ](#)

ポルトガル出身の菓子職人のご主人は、日本でカステラ職人修行をされた唯一の外国人です。奥様はポルトガル菓子と料理を学ぶために大学卒業後すぐポルトガルに単身渡った方。最初は、ポルトガルで出店されましたが、日本にポルトガル本場の菓子文化を紹介したいという思いから、ご夫婦で日本に移住され、ここ北野天満宮大鳥居の東脇に店を構えられました。写真のような「食文化比較体験プレート」というセットメニューでは、ポルトガル本場の3地域の様々なパウンドロー(カステラの御先祖さまと考えられる伝統菓子)と日本のカステラを同時に味わうことができます。日本は、世界から多様な食文化を取り入れ、食の多文化化を突き進めてきた世界でも稀な場所です。このプレートでは、そんな食文化の交流に思いを馳せながら、

本場ポルトガルの伝統菓子パオンデローと日本に輸入され進化してきたカステラとを同時に比較しながら味わえます。国際都市京都にふさわしいお店です。



154



（「食文化比較体験プレート」です！）

町家^{まちや}で食べる「うどん」は絶品！ 名物の「たわらやうどん」は通称「一本うどん」と呼ばれており、半分に切られた一本の極太の麺をだしとすりおろした生姜でいただくシンプルなうどんです。太く長く生きられるようにという願いが込められており、体がポカポカと温まるおいしさです。

京都には“町家”と呼ばれる木造建築の建物があります。その起源は平安時代まで遡り、江戸時代に、現在のような住居とお店が一体となった建物になりました。現存している町家は、明治・大正時代に再建されたものがほとんどですが、たわらやさんは、約 400 年前に建てられたもので、歴史的にも古い建物となっています。お店の窓には、中から外は見えるけれど、外から中は見えにくいという格子があり、簡素なたたずまいを引き立っています。また、店内でも、井戸や階段の下スペースを有効活用する目的で作られた階段筆笥など、昔ながらの家屋文化を見ることができます。お料理と一緒に、こうした町家の雰囲気も、是非、楽しんでください。





栗餅所 澤屋 [栗餅所 澤屋 | 恋する京都旅 \(kyoto-addict.com\)](http://www.kurihimo.com)

[Google マップ](#)

北野天満宮より徒歩 2 分にある^{さわや}澤屋は江戸時代から続く、歴史のある^{あわもち}栗餅のお店です。つくたてのお餅を提供しており、栗のお餅に風味豊かなこし餡がついたお餅と、香ばしい香りのきなこがついたお餅の 2 種類を味わうことができます。

1638 年に発行された『^{け ふきぐさ}毛吹草』という俳書で各地の特産物も読み取れる書物には、このお店のことが記載されています。

栗とは、五穀のうちの 1 つで、昔は庶民になじみのある食べ物でした。農民の主食であった栗を餅にして、境内で販売したのがお店の始まりです。現在のご主人で 13 代目となり、北野天満宮の門前菓子として長年愛され続けています。

太平洋戦争中は配給制度のためお店は休業していました。それでも何とか戦後にお店を再開し、祖先が築いてきたやり方を今もなお守り続けています。

お店の中は、どこか懐かしい雰囲気漂っています。ゆったり流れる時間の中で栗餅をいただいていると、思わず江戸時代にタイムス

リップしてしまいます。



157



行列の絶えない人気の豆腐屋さんです。初めは、とようけ屋山本本店での店頭販売のみでしたが、お客さんからの熱い要望を受けて、1 階が売店、2・3 階が飲食スペースという直売店＋レストランの併設開業になりました。

人気はもちろん全国区で、お昼時には多くの観光客がつめかけ、店の前には長い行列が出来るほどです。古くからの製法にこだわり、季節ごとの京野菜を使った店独自のメニューの数々は、並んででも食べる価値があります。

また、1 階では、豆乳を使ったヨーグルトやプリン、大豆(豆腐の原材料)を使用した饅頭も販売されています。京都のお土産としてお勧めです。まさに、「大豆料理のスペシャリスト」と言えるお店です。



[E エリア冒頭に戻る](#)

[エリア選択ページに戻る](#)

[サイト目次に戻る](#)



等持院 [臨濟宗 天龍寺派 等持院 \(toujiin.jp\)](http://toujiin.jp)

Google マップ

「等持院・立命館大学衣笠キャンパス前駅」は、一時、日本で一番長い駅名だったそうです。この駅を降りて、北に歩き8分のところに、立命館大学に隣接しているのが等持院です。等持院は、1341年、室町幕府を開いた足利尊氏^{あしかが たかうじ}将軍が禅僧、夢窓疎石^{む そう そ せき}に依頼し、創建した寺院です。尊氏の死後、足利将軍家の菩提寺^{ぼだいじ}となりました。

霊光殿^{れいこうでん}には、足利歴代将軍の木像が並びます。実物を忠実に再現しており、それぞれの個性が表現されています。

日本文化は室町時代以降大きく変化します。日本社会の担い手が貴族から武士へと移るとともに、禅宗が発展し、公家文化に武士の文化、禅の思想が交じり合って、日本独特の新たな文化が創られていきました。現在の日本文化は、この時代に出来たと言っても過言ではありません。日本文化の核心とも言える日本庭園、銀閣寺などにみられる書院造りの建築様式、狂言、華道、茶道などは、いずれも、この室町時代に確立されたものです。

方丈と方丈庭園の間の廊下を歩くと、美しい小鳥のような音が聞こえます。鶯^{うぐいす}の音に似ているので、鶯張りと呼ばれています。京都通によると、この等持院の鶯張りは、京都で一番美しい音がすることです。等持院の庭園は、夢窓疎石が作った京都における庭園の中で、3大名園の1つとされています。この庭園も見る人の感じ方や視点によって、様々に変化します。また季節、天気、1日でも時間帯などによって刻々と変容し、様々な姿を見せてくれます。

この庭は回遊式庭園となっており、置かれたサンダルを履いて、庭に降りて自分の足でちょっとした散策をすることができます。歩いて回っていくと手前の庭と奥の庭とで様子がずいぶん違って見えることでしょう。手前は芙蓉池^{ふよういけ}を中心とする庭です。石組が特徴的で、

石によって滝の水の動きが表現されています。奥は心字池(上空から池を見ると「心」という字になっています)を中心とする庭園です。

春は桜、夏至の頃に色づく半夏生、秋の紅葉、冬は山茶花など美しい景色を四季折々楽しむことができます。散策の途中、足利尊氏の墓もお参りすることができます。入り口で頼んでおくと、座敷の赤毛氈あかもうせんのうえでゆったりと庭を眺めながらお茶とお茶菓子を楽しむことができます。





等持院の境内には、昔、映画の撮影所がありました。80 年ほど前、この付近には数多くの撮影所が林立し、「日本のハリウッド」と呼ばれ、賑わっていたのです。この等持院撮影所を作った人物こそ、「日本映画の父」と呼ばれるマキノ省三です。その彼の銅像が等持院の境内に建てられています。

(室町幕府創始者、足利尊氏のお墓)



(日本映画の父「マキノ省三」の像)

[立命館大学 - 衣笠キャンパス - Google マップ](#)

堂本印象美術館へは、立命館大学の中を通り抜けていくことができます。等持院からだ、立命館大学の清心門^{せいしんもん}あるいは南門から、北側の正門へと向かって歩くことになります。その途中にある東広場（下の写真）では、「嵐電沿線フジバカマプロジェクト」が進行中です。

フジバカマは、日本では「秋の七草」の1つとされる植物です。他種との交配や自生に適した環境が日本国内に少なくなってしまったことが原因で、一度は絶滅したと考えられていました。30 年ほど前に、偶然にも国内でフジバカマの原種が見つかったことで、絶滅危惧種として認定され、保護対象となりました。



立命館大学は、京福電気鉄道株式会社と連携して、フジバカマを育てて生物の多様性を守り、持続可能な社会（SDGs）の実現を目指すフジバカマプロジェクトが進行中です。フジバカマによる染物イベントを実施したり、嵐山駅の足湯にフジバカマを浮かべたフジバカマ湯を期間限定で実施したりと、その活動は広がりをみせています。

『幻の花と蝶』～絶滅危惧種フジバカマ

さらに、プロジェクトでは、フジバカマの苗を嵐電北野線沿線に届け、地域の人びとにもフジバカマを育ててもらっています。フジバカマによって、様々な人びとの繋がりが広がっているのです。フジバカマの開花時期である夏の終わりから初秋かけて、アサギマダラと呼ばれる、かつて、国蝶候補にも挙げられた大変美しい蝶を見ることができます。興味を持った方は、「嵐電沿線フジバカマプロジェクト」ホームページを一度チェックしてみてください。

(嵐電沿線フジバカマプロジェクト：[HOME | Fujibakaman](https://www.fujibakaman.jp/))





なお、立命館大学の体育館と中央広場は、大規模災害時のための避難所となっており、大学として防災グッズや食料・飲料等の備蓄がされています。定期的に、近くの小学校や地域の人びとが参加する防災訓練もおこなわれています。立命館大学衣笠キャンパスは、大規模災害の際に地域の避難所として、人びとの命を守る役割も果たそうとしているのです。

どうもといんしょう

堂本印象美術館 [京都府立堂本印象美術館 \(insho-domoto.com\)](http://insho-domoto.com)

[Google マップ](#)

立命館大学北側の正門前に、堂本印象美術館があります。堂本印象美術館は、様々な芸術分野に異彩を放った堂本印象が、自身が75歳の1966年に開館した美術館です。美術館のデザインも堂本印象本人がおこなっています。



美術館の回廊展示室や 2 階大展示室では堂本印象の作品を楽しむことができます。それらに加えて、新館にも作品が展示されています。堂本印象は戦後欧州での研鑽から帰国後、抽象画の制作も試みるようになりました。また、木製家具などもデザインしています。

堂本印象は、「画家としては、一つの様式が完成すればすぐにそれを打破し、いつまでもそこに安住せずに、気前よくそれを打ち捨て次の段階を目ざして進まなければならない」という考えをもとに、生涯を通じて多様な制作にチャレンジしました。様々な造形分野でマルチな才能を発揮したという点で、「日本のピカソ」と言って良いかもしれません。

また、美術館の隣にある堂本印象邸は、現在、立命館大学が管理しており、様々なワークショップ企画などが実施されています。また、美術館 3 階のサロンには、堂本印象の画材を展示したスペースがあります。立命館大学の落語研究会による紹介映像などが流れているのでご覧ください。

堂本印象の作品が印刷されたポストカードは、人気のお土産品です。館内には座れる場所も多く、体を休めながら、堂本印象の芸術的世界に浸ることができます。



堂本印象美術館を出て、左手を進むと世界文化遺産の金閣寺に、15分ほどで行けます。混雑したバスを避けて、この散策ルートで、世界遺産の金閣寺と龍安寺を、美術館散策を挟みながらゆっくりと楽しめることを推奨します。その途中、立ち寄りお食事処として、「権太呂^{ごんたろう}」がおすすめです。

鹿苑寺・金閣寺 [金閣寺 | 臨済宗相国寺派 \(shokoku-ji.jp\)](http://shokoku-ji.jp)

[Google マップ](#)

元は、貴族の別荘でしたが、室町幕府三代将軍の足利義満が譲り受け、山荘北山殿としました。義満は中断していた中国との貿易の復活を強く望んでいました。金閣を中心とした庭園・建築は、極楽浄土をこの世にあらわしたと言われますが、歴史家によれば、彼は、中国（明）の勅使を迎えて、日本の国力・文化水準を印象付ける舞台として活用しようとしたものと考えられています。

義満の死後、遺言によりお寺となり、夢窓国師を開山として、義満の法号^{ろくおんいんの}鹿苑院殿から二字をとって鹿苑寺と名づけられました。

1994年に、「古都・京都の文化遺産」として、清水寺、龍安寺、二条城などとともに、ユネスコにより世界文化遺産に登録されました。

堂本印象美術館から金閣寺に行く道沿いに、うどん・そばの名店「権太呂」があります。小腹が空いた方は、ぜひ、お立ち寄りください。

[Google マップ](#)

龍安寺から金閣寺へと行く中間地点に「権太呂」があります。こちらは築100年の京古民家を改装した風情ある食事処となっています。うどん、そば、丼物に関しては、それぞれ10種類以上あり、迷ってしまうくらいのメニュー数です。京都ならではの「にしんそば」、権太呂金閣寺店限定の「湯葉あんかけうどん」、権太呂ならではの「そば実豆腐」の一品メニューもあり、きっと京都観光の思い出に残る食事になると思います。食後には蕎麦湯が提供され、美しい庭を見ながら落ち着くことができます。開店日時等は、サイト情報からご確認ください。



金閣寺から龍安寺は、きぬかけの路沿いに歩いて 32 分ほどで着きます。龍安寺も、1994 年、「古都・京都の文化遺産」の 1 つとして、ユネスコにより世界遺産に登録されています。京都は 8 世紀から現在に至るまで、日本の文化的な中心都市であり、沢山の文化資産がありますが、なかでも、この龍安寺は、禅宗の思想をよく表現した石庭が有名です。しかし、1450 年に細川勝元によって、禅寺とされる以前は、もともと貴族の別荘であり、石庭の南側にある池を取り巻く庭園にその名残を見出すことができます。枯山水の庭園と水と木々の池泉回遊式庭園、2 つの対照的な庭園空間をどうか堪能ください。

龍安寺の方丈庭園は、白砂と 15 個の自然石のみで構成された庭園です。なんとシンプルで静寂かつ自然な空間でしょうか。この庭は、観る人のところを映し出してくれるのです。解釈は、まったく自由です。

1 つ面白い見方を紹介します。龍安寺の石庭では、15 個の石の全姿を同時に見渡すことができる立ち位置はありません。見えるとすれば、「天空からのみ」です。では、地に立ち生きる私たちは、どうすればよいのでしょうか？ 15 個の石の全体像を把握するためには、自分自身の立ち位置を変えつつ、見る角度を変えていかねばなりません。こうした努力は、人間社会に対しても、同じではないでしょうか。それぞれが己の立場を越えて、多様な他者の立場に依拠することによって、初めて、自分とは異なる者の世界が見えてくるのです。

こうした説明を多文化主義国家カナダの大学から来た社会学者にしたところ、いたく感動され、以来、龍安寺の石庭の写真を使って、社会学の最初の授業をされるようになったということです。

春は桜、秋は紅葉、冬は雪景色と、ひたすら楽しめる石庭です。



(龍安寺提供写真)



(龍安寺提供写真)



(龍安寺提供写真)





石庭の裏側に回ると、石に「吾唯足知」という文字が彫られた^{つくばい} 蹲があります。これは少し奥にある茶室蔵六庵（非公開）前にある蹲のレプリカです。蹲とは茶室に入る前に、手を清めるために置かれた手水鉢です。この蹲は、江戸時代に水戸光圀が「大日本史」編成にあたり、龍安寺から「太平記」13冊を借りた際に、謝礼として寄進されたと伝わっています。「吾唯足知」は簡単にいうと「満足する気持ちを持ちなさい」という意味です。「足ることを知る人は、心が穏やかであり、足ることを知らない人は、心はいつも乱れている」と仏教を起こした釈迦が説かれています、仏教の本質を提示した言葉です。

気候変動、戦争など文明社会の在り方が根本的に問われている現代ですが、私たちの心を強く打つ警句となっていると言えるでしょう。

石庭を出て、^{きょうようち} 鏡容池の周りの小路を散策していきましょう。その途中に、^{せいげんいん} 西源院があります。

西源院では、食事ができます。石庭の枯山水とは対照的な水と緑が豊かな庭を眺めながらいただく精進料理と七草湯豆腐は格別です。

白菜、水菜、京生麩をはじめ多くの具材が入った湯豆腐は、先代住職が人びとの滋養を願って考案したそうです。小川や鹿^{ししおど}威しが奏でる水^{さえず}の音、鳥の囀りを聴きながら、至高の時を過ごすことができます。



鏡容池は、ここがまだ貴族の別荘だったころ、貴族たちは舟遊びをして自然と戯れたそうです。池の周りには桜やカエデが植栽されており、四季折々に色とりどりに目を楽しませてくれます。池の周りをゆっくりと散策して、四季折々の美しさをご堪能ください。

龍安寺を出て、龍安寺参道商店街を経て、嵐電龍安寺駅に向かいます。



龍安寺から出て、横断歩道を渡るとすぐに、「京こもの衣笠」があります。1968年に龍安寺門前で和の小物店として創業。2012年にデザイン性に優れた和の小物をセレクトしたお店としてリニューアルオープンしました。

店内を見ると「京都」を感じるグッズがいっぱい！ 様々なデザインの京扇子や西陣織で作られた「がま口財布」やバッグなどは京都らしいお土産になります。一番の売れ筋は「ねじり箱」です。西陣織金襴であつらえた六角形の不思議な小箱です。左に軽くねじると口が開きます。中に入っている「におい袋」の香りを楽しみながらアクセサリや小物入れとしてお使いいただけます。

支払いでは、バーコード決済、クレジットカード等もお使いいただけます。





京つけもの富川 [京つけもの富川 \(kyoto-tomikawa.jp\)](http://kyoto-tomikawa.jp)

Google マップ

龍安寺山門前の道沿いに、「京つけもの富川」があります。店の中には、様々な野菜を使ったお漬物がたくさん売られています。選りすぐりの野菜の多くは、店主が京都の郊外に持つ自社農園で作られたものなのです！ 生産・加工・販売の全てを担い、自信をもって売り出していることは何よりもこのお店の強みです。京漬物の定番の「千枚漬」や「しば漬」「すぐき漬」は、もちろん、タケノコや水ナスの漬物などバリエーション豊かな商品は美しく、見てても飽きることはありません。丹波黒豆やブロッコリーの漬物にもチャレンジしています。これは、富川が初めて開発した京漬物です。

修学旅行で龍安寺に来た中学生から地域の方々まで、幅広い層に人気がある店です。自社で生産した京都産コシヒカリ米も売られており、馴染みのお客に根強い人気があります。

漬物のほかには、特に海外の方に人気の自家製おにぎりや、濃厚な味が自慢のソフトクリーム（抹茶味もあり）も売られています。暑い夏には、ソフトクリームを買って一休みする人びとを多く見かけます。



「京こもの衣笠」の右手にある小道を南に進むと、龍安寺参道商店街があります。龍安寺参道商店街は、龍安寺山門と妙心寺北門の間に位置する商店街です。「龍^{たつ}の道」と自称して、様々な地域活性化活動を行っています。この道を進んでいくと、嵐電「龍安寺駅」に辿り着きます。いくつか、魅力的なお店を紹介しておきましょう。

とんぼの家

[とんぼの家 - Google マップ](#)

「とんぼの家」は地域の人たちが集まり、この商店街を訪れる人びととも交流できる場として作られたコミュニティ・カフェです。地域の方や旅行者の憩いの場として機能しており、様々な地域活動の拠点となっています。外国人向けに折り紙や習字の文化体験もできます。また、真剣が置いてあり、貴重な日本文化を間近に体験をすることもできます。旅の途中に、龍安寺参道商店街で地域の方達との交流を楽しんではいかがですか。



あいおい食堂は、龍安寺参道商店街に 60 年ほど前からあるアットホームな食堂です。立命館大学の学生が作成した英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語に対応したメニュー表があるので注文しやすく、外国人の方でも気軽に入ることができます。学生食堂や地域の食堂として、長年、人びとに愛され、値段もリーズナブルで入りやすいお店です。是非、昼食をとりに寄ってみてはいかがでしょうか。



180



お好み焼 克(かつ) - Google マップ

「お好み焼き克」は、30 年ほど前に地元で昼でもお好み焼きを食べられる店としてオープンしました。お店を切り盛りする夫婦と、外国人でも英語で気さくな会話ができるとうわさが広がり、多くの外国人観光客も訪れます。



天神市@北野天満宮 北野天満宮天神市 2024 (毎月 25 日早朝～) 骨董市 (kyototravel.info)

北野天満宮は毎月 25 日に、「天神さん」というフリーマーケットで賑わいます。北野天満宮は、「歌舞伎」の創始者と言われる出雲の阿国おくにが「かぶき踊り」を広めた場所です。阿国座の一時的な興行は、男装の踊り、「かぶき踊り」として評判となり、阿国は、北野天満宮に「定舞台」を持つようになります。これは興行の在り方を革新する画期的な出来事でした。それから、多くの人が集まるようになり、傘を差しかけた可動式茶屋が立ち並ぶようになりました。人びとは、そうした茶屋で振る舞われるお茶や食べ物に舌鼓を打ちながら、新たな芸能を心行くまで楽しんだのです。こうしたことも背景となり、フリーマーケットである「天神さん」も賑わい始めました。

182



「天神さん」の当日には、北野天満宮の周りに沢山の露店が並びます。焼きそばやたこ焼きなどの軽食以外にも、骨董品や古着、着物な

どの露店があるため、地元の人びとだけでなく、遠方からも多くの方が足を運ぶ場となっています。珍しい掘り出し物が並ぶこともあるからです。12月25日の「終い天神」と1月25日の「初天神」は、ひととき多くの人びとで賑わいます。神社の方によると、境内に並ぶ露店の数は、多いときで1500店ほどにもなるそうです。19時頃まで行われますが、天候によっては早い時間に終わることもあります。また、「天神さん」の日は、終日、駐車不可。公共交通機関でお越しください。



妖怪ストリート（大將軍商店街）

[大將軍商店街について | 大將軍商店街振興組合 一条妖怪ストリート \(kyoto-taisyogun.com\)](#)

大將軍商店街は、「妖怪ストリート」と称して商店街活性化を行っている珍しい商店街です。大將軍商店街がある一条通りには、平安京の時代、古くなって捨てられた道具類が妖怪に化けて行進したという「百鬼夜行」^{ひゃっきやぎょう}の伝説があります。平安時代の人びとは、一条通りから南を人の住む空間、北を人以外のものが住む空間として捉えていました。一条通りは2つの世界の境界線にあたり、逢魔^{おうま}の場所だったのです。活性化の企画を考えていた商店街の人たちは、一条通りがそんな妖怪にゆかりがある場所であることから、「妖怪でまちおこし」という奇抜なアイデアを思い付いたのです。

当時、大学院観光デザイン科で妖怪文化について研究していた大学院生の河野隼也さんが学生たちと参画します。妖怪をコンセプトとする美大の学生と商店街の珍しいまちづくりコラボレーションが、こうして生まれたのです。嵐電妖怪電車というイベントも、取り組まれるようになり、「妖怪ストリート」は次第に人びとの間に知られていくようになりました。

妖怪ストリート＝大將軍商店街には、妖怪をテーマとするギャラリーショップ「百妖箱」^{ひゃくようばこ}があります。

[妖怪ギャラリーショップ「百妖箱」 百妖箱 \(kyotohyakki.com\)](#)

Google マップ

北野天満宮から大鳥居を出て南に4分直進すると、赤色の一条通妖怪ストリートと書かれた幟が見えます。大將軍商店街の入り口です。この通りを2分ほど、西に直進し、交差点で左を覗くと面白いお店が見えます。妖怪ギャラリーショップ「百妖箱」です。

河野隼也さんが主宰する妖怪芸術団体「百



妖箱」が運営するお店で、和紙で作った妖怪のお面やイラストなどのオリジナル妖怪グッズが販売されています。

一番人気は、妖怪の亚克力スタンド（写真を参照ください）。河野さんが手掛けた妖怪図鑑や妖怪が描かれた T シャツも子どもから高い人気があります。外国人観光客も訪れてこられるそうです。





妖怪芸術団体「百妖箱」は、まちづくりイベントとして「一条百鬼夜行」と「モノノケ市」なども企画・実施しています。また、Aエリアでも紹介した京都の夏の風物詩とも言える京福電鉄「妖怪電車」でも、河野さんがデザインした妖怪たちが活躍しています。



一条百鬼夜行

「一条百鬼夜行」は、百妖箱のメンバーや全国から集まった妖怪デザイナーや妖怪ファンが、妖怪の仮装をして大將軍商店街を百鬼夜行のように練り歩くというイベントです。使い古され打ち捨てられた古道具が「付喪神（つくもがみ）」と呼ばれる妖怪に变じ、夜更けに徒党を組み、京都の都を練り歩いたという伝承に基づくイベントです。

河野さんは、百鬼夜行と一条通り（大將軍商店街）を結びつける文献資料として、「徒然草」^{つれづれぐさ}「付喪神記」^{うじしゅういものがたり}「宇治拾遺物語」「今昔物語」などを上げられています。開催日は年によって変わるので、興味のある方は、事前に[百妖箱 \(kyotohyakki.com\)](http://kyotohyakki.com)などから情報収集をお願いします。





モノノケ市@大將軍商店街

「モノノケ市」は、2009 年から開催されている妖怪をテーマにしたアートフリーマーケットです。大將軍八神社 ([Google マップ](#)) の境内を借りて開催されており、全国から集まった妖怪をテーマに活動している作家がオリジナルの妖怪作品を販売します。妖怪グッズから、おしゃれなアクセサリまで売られています。

フリーマーケットで利用できる、妖怪のイラストが描かれた専用通貨は、記念のお土産としてもお薦めです。有料で怪談話などのイベントも行われています。妖怪のコスプレをした方と記念撮影も可能です。出店数は 30～40 店ほどで、開催時間は 10 時～17 時、夏季開催は 13 時～20 時となっています。年に 3, 4 回開催されているので、気になった方は、以下のサイトもご覧ください。

([京都の妖怪アートフリマ「モノノケ市」の様子 - Together](#))





[平野神社 - Google マップ](#)

平野神社は、京都を代表する花見の名所です。境内には、60種類400本もの桜が植えられており、桜の開花シーズンとなると、多くの人びとで賑わいます。平野神社は、桜の博物館とも言われています。

近年、桜の根元に菜の花が植えられ、菜の花の黄色と桜の花色とのコントラストが美しいです。

そもそも、平野神社には、平安時代から様々な桜が植樹されており、中には平野神社発祥の桜の種も存在します。桜の開花情報や桜苑の公開時間・入場料については、公式サイト等をご確認ください。

192





上七軒歌舞会 - Google マップ

上七軒歌舞練場では、年に2回、舞踏の会を楽しめます。春は、3月20日から4月2日に、「北野をどり」が開催されます。毎年、オリジナル脚本により、絵本のような舞台が披露されます。台詞が多用され、お客様みんなが楽しく理解できるような作品が追求されています。

秋は11月13日から11月18日に、^{ことぶきかい}「寿会」が開催されます。春の「北野をどり」とは異なり、古典的な作品が演じられます。台詞も全てが古典調で、芸妓さんとしての技を磨くための舞台と位置付けられています。

これ以外に、夏の7月1日から9月7日ごろにかけて、ビアガーデンが歌舞場庭園で開催されます。このビアガーデンは、庭の池の周りで納涼しながら、語らう場を提供することを目的として開始されました。時間は17時半から22時までで、最初のセット(2024年では、2500円、お飲み物とお豆腐、枝豆などのセットメニュー)を注文してから楽しむことができます。インターネットで予約されてお越しください。ここでは、普段、会える機会のない芸妓さんや舞妓さんたちと、一緒に写真を撮ったり、楽しく会話をしたりしながら飲食することができます。





(上七軒歌舞会提供)



(上七軒歌舞会提供)

1444 年に北野天満宮の社殿が一部焼失して、室町幕府将軍 10 代あしかがよしたねの足利義植が再建を命じた際、社殿の余材を使用して七軒の茶屋が建てられました。この茶屋が、御所よりも北＝上に位置する七軒の茶屋として知られ、やがて「上七軒」と呼ばれるようになったそうです。

また、豊臣秀吉が主催した北野大茶湯の際、豊臣秀吉が七軒茶屋で食べた「みたらし団子」に大変感銘を受け、みたらし団子の販売特権と京都全域での営業権が与えられました。その縁から、上七軒は、お団子を紋章として掲げているのです。上七軒歌舞連場に掲げられている提灯に、5 つの団子の紋章が飾られているのは、そうした背景からなのです。

菅原道真公の命日である 2 月 25 日には、北野天満宮で梅花祭が開催されますが、その際、上七軒の芸妓さん・舞妓さんによるお茶席（野点）が催されます。芸舞妓さんのお茶のお手前を楽しみながら、お菓子をいただくことができます。











立命館大学国際平和ミュージアムは 1992 年 5 月に設立されました。大学によって創られた平和ミュージアムとしては、世界初のミュージアムです。創設 24 年を迎えた 2016 年 5 月には、入館者は総計 100 万人に達しています。つまり、年間、約 4 万人以上が訪れたことになります。2023 年 9 月に 2 年間の休館を経て、リニューアルオープンしました。

たんに過去の悲しい戦争の時代を振り返るだけでなく、その歴史から学び、様々な視点から多角的に見る力を養い、将来に向けた平和構築のアイデアを構築していく足掛かりを提供することを目的としています。

リニューアルに際して、多様な来館者を迎え、そうした多様な来館者同士が意見交流できる場を提供するというコンセプトが重視されました。

誰でも歩きやすい階段に変更されたり、様々な所にユニバーサル

デザインが採用されたりしています。授乳室、救護室も設置されています。

過去を学ぶだけでなく、今後の将来のために、平和構築のアイデアを皆で考えていくために、「問いかけ広場」が設けられています。来場者が展示を見て感じたことを、来場者全員と共有できる場です。展示についての自分の考えを、他の人の意見と比べながら改めて考え直すことができます。ミュージアムを知のインプットだけでなくアウトプットの場にするという新たな博物館の設計思想です。



平和ミュージアムの2階には、来館者同士の対話スペース「ピースコモンズ」があります。このスペースは、「展示を見る前に事前学習をする」「見終わった後に振り返る」「来館者同士感想を語り合う」などのために自由に使えます。皆さんも、ぜひ、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



平和ミュージアム・スタッフからのメッセージ

「ぜひ、来て、見て、感じて、考えて、平和構築に向けて一步を踏み出すきっかけにしてください。平和な社会を築くことは、私たちの想像力・創造力にかかっています。皆さんから、この場の有効活用についてもたくさんの意見をお寄せください。」



田鍬さん(左) 田島さん (右)

4. テーマ別「嵐電沿線深掘り旅」の楽しみ方

① お寺に泊まりたい・・・

鹿王院女性用宿坊 (B エリア)

妙心寺花園会館 (D エリア)

② 勤行・座禅を体験したい・・・

天龍寺 (C エリア)

妙心寺・退蔵院 (D エリア)

妙心寺・春光院 (D エリア)

③ 侍体験をしたい・・・

KYOTO・SAMURAI・EXPERIENCE (A エリア)

東映太秦映画村 (B エリア)

④ 川遊びをしたい・・・

嵐山・桂川 (C エリア)

⑤ 竹林を楽しみたい・・・

嵐山 (C-1 コース、C-2 コース)

⑥ 銭湯や温泉を楽しみたい・・・

トロン温泉稻荷湯 (A エリア)

風風の湯 (C エリア)

嵐山駅足湯 (C エリア)

- ⑦ 日本の大学キャンパスを散策したい・・・
立命館大学衣笠キャンパス (D エリア)
- ⑧ 平和を学びたい・・・
立命館大学平和ミュージアム (D エリア)
- ⑨ 静かでお洒落な美術館で一息したい・・・
福田美術館 (C エリア)
堂本印象美術館 (D エリア)
- ⑩ 自然を堪能したい・・・
嵐山 C-3 コース (C エリア)
八十八か所巡り (D エリア)
- ⑪ お化けや妖怪に出会いたい・・・
嵐電妖怪電車 (A エリア)
東映太秦映画村・お化け屋敷 (B エリア)
妖怪ショップ・百妖箱 (E エリア)
もののけ市 (E エリア)
大將軍商店街・百鬼夜行 (E エリア)
- ⑫ 能を近くで味わいたい・・・
鳴滝能 (D エリア)

⑬ 見逃したくない桜スポット・・・

二条城 (A エリア)

嵐山 C-1 コース、C-3 コース (C エリア)

嵐電桜のトンネル (D エリア)

仁和寺・御室桜 (D エリア)

妙心寺・退蔵院 (D エリア)

龍安寺 (E エリア)

平野神社 (E エリア)

⑭ 見逃したくない紅葉スポット・・・

鹿王院 (B エリア)

嵐山 C-1、C-2、C-3 コース (C エリア)

妙心寺・退蔵院 (D エリア)

北野天満宮 (E エリア)

⑮ 舞妓さんに出会いたい・・・

上七軒歌舞練場 (E エリア)

⑯ 世界文化遺産を訪れたい・・・

二条城 (A エリア)

天龍寺 (C エリア)

仁和寺 (D エリア)

龍安寺 (E エリア)

金閣寺 (E エリア)

⑪ 日本庭園を味わいたい・・・

二条城・二の丸庭園 (A エリア)

神泉苑 (A エリア)

天龍寺曹源池庭園 (C エリア)

大河内山荘 (C エリア)

仁和寺御殿庭園 (D エリア)

妙心寺・退蔵院：

元信の庭・余香苑 (D エリア)

等持院 (E エリア)

龍安寺・石庭 (E エリア)

金閣寺 (E エリア)

⑫ 日本のお祭り・フェスティバル・イベントを見てみたい・・・

二条城ライトアップイベント (A エリア)

壬生狂言 (A エリア)

祇園祭・還幸祭 (A エリア)

春日祭 (A エリア)

ザ・西院フェス (A エリア)

鹿王院ライトアップ (B エリア)

三船祭 (C エリア)

207

①9 変わったカフェに行きたい・・・

ワンダーカフェ (D エリア)

カステラ・ド・パウロ (E エリア)

②0 ベジタリアン・ビーガン用の食文化に触れたい・・・

京つけものもり (A エリア)

森嘉 (C エリア)

西源院 (D エリア)

京つけもの富川 (D エリア)

とようけ茶屋 (E エリア)

俵屋うどん (E エリア)

5. その他関連リンク情報

- ・ [京都観光イベント一覧 | 京都府観光連盟公式サイト \(kyoto-kankou.or.jp\)](http://kyoto-kankou.or.jp)
- ・ [京都観光オフィシャルサイト_京都観光 Navi ぶらす \(kyoto.travel\)](http://kyoto.travel)
- ・ [京都府のコンビニ一覧 - NAVITIME](http://www.navitime.co.jp)
- ・ [KYOTO CULTURE HUB | 京都から文化の魅力・イベント情報発信ポータルサイト](http://kyotoculturehub.jp)
- ・ [京都歴史回廊協議会 | 京都歴史回廊協議会は、京都市北西部エリアの一般市民・寺社・芸術家・商店主・大学が参加し、2004年に設立されました。\(kyotokairou.org\)](http://kyotokairou.org)
- ・ [Japan Safe Travel Information
https://www.japan.travel/en/japan-safe-travel-information/](https://www.japan.travel/en/japan-safe-travel-information/)
- ・ [Walking in Kyoto, the Bus and Rail Expert 歩くまち京都 バス・鉄道の達人 \(arukumachikyoto.jp\)](http://arukumachikyoto.jp)

[サイト目次に戻る](#)

